

(仮称) 松原児童センター基本計画

平成 30 年 3 月

草加市

目 次

1	基本計画の位置付け	1
2	前提条件の整理	
(1)	周辺地区の状況	2
(2)	法規条件の整理	3
(3)	敷地条件等	4
(4)	ライフラインの条件	5
(5)	外部交通条件	5
3	基本的な考え方	
(1)	利用計画	6
(2)	交通施設計画	8
(3)	管理施設計画	9
(4)	建築の基本フレーム(敷地内容、面積、階数、設備、計画動線)	10
(5)	建築平面計画	13
(6)	建築断面計画	14
(7)	外構・屋外空間の計画	14
(8)	イメージ図	15
(9)	ライフサイクルコストの縮減	17
4	施設の概要	
(1)	平面図	18
(2)	立面図・断面図	19
(3)	模型(写真)	20
(4)	概算事業費	21
5	市民意向の把握	
(1)	市民検討会議の概要	22
(2)	検討の経過	
①	第6回市民検討会議(平成29年7月21日)	23
②	第7回市民検討会議(平成29年8月7日)	27
③	市民説明会(平成30年1月26日)	32
④	第8回市民検討会議(平成30年2月15日)	34
⑤	第9回市民検討会議(平成29年3月13日)	38
6	参考資料	
(1)	(仮称)松原児童センター基本構想(平成29年3月)概要	44
(2)	(仮称)松原児童センター市民検討会議 出席者	53

1 基本計画の位置付け

(仮称)松原児童センターは、平成 28 年 3 月をもって閉館した旧松原児童館に替わり、従来の児童館機能に加えて、青少年の活動の場、多世代交流の場、さらに文化芸術の振興として音楽活動の場として、複合機能を有する施設とすることを基本方針として、新たに整備する予定です。

この基本方針に基づき、(仮称)松原児童センターに備えるべき機能、諸室等について整理した「(仮称)松原児童センター基本構想」を平成 28 年度に策定しました。

本計画は、この基本構想に基づき、(仮称)松原児童センターに整備する諸室の内容、施設の配置や外構などの案をまとめたものです。

今後は、平成 33 年度（2021 年度）の施設開設に向けて、本計画を基に、基本設計・実施設計を行い、さらに施設の建設工事を行っていきます。

2 前提条件の整理

(1) 周辺地区の状況

草加松原団地は市の中心部草加の北側、東武スカイツリーライン獨協大学前〈草加松原〉駅の西側に広がる大規模な団地です。かつては水田地帯を開発した低地で、伝右川の氾濫で冠水被害を受けていました。昭和 37 年から入居が始まり、最盛期の全住戸は約 6,000 戸にも及びました。

■建設予定地 位置図



老朽化した草加松原団地の建替えと併せて地区の骨格となる道路及び公園等の整備が進み、住宅の居住水準の向上と良好な住環境を実現するため、現在、都市再生機構を始め民間開発により全地域で建替事業が進みつつあります。

(仮称) 松原児童センターの建設予定地は、「獨協大学前〈草加松原〉駅西側地域まちづくり理念に関する協定書」のグランドプランにおいて、にぎわい交流機能を備える【生活交流拠点ゾーン】に位置付けられています。

■グランドプラン



(2) 法規条件の整理

(仮称)松原児童センターの建設に向けて、現時点で整理すべき関係法令は次のとおりです。

- ・ 建築基準法（昭和 25 年法律第 201 号）
- ・ 消防法（昭和 23 年法律第 186 号）
- ・ 児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）
- ・ 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（平成 18 年法律第 91 号）
- ・ 都市計画法（昭和 43 年法律第 100 号）
- ・ エネルギーの使用の合理化等に関する法律（昭和 54 年法律第 49 号）
- ・ 埼玉県福祉のまちづくり条例（平成 7 年条例第 11 号）
- ・ ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例（昭和 54 年条例第 10 号）
- ・ 草加市開発事業等の手続及び基準等に関する条例（平成 17 年条例第 8 号）
- ・ 草加市景観条例（平成 20 年条例第 12 号）
- ・ 草加市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例（平成 18 年条例第 23 号）

■建設予定地



計画地	草加市松原四丁目 2758 番地 7	日影規制	高さ 10m 以上の建築物 H＝4m (4 時間／2.5 時間)
用途地域	第一種中高層住居専用地域 (変更予定)	道路幅員 ・東側道路：幅員約 19m ・南側道路：幅員約 3m (緑道) ・西側道路：幅員約 3m (緑道)	
指定容積率	200%		
指定建ぺい率	60%		
防火地域	指定なし	その他	公共下水道、都市ガス
高度地区	指定なし	敷地面積	児童センター 4,000 m ² テニスコート 3,250 m ²
地区計画	地区計画区域		
最高高さ	なし		

(4) ライフラインの条件

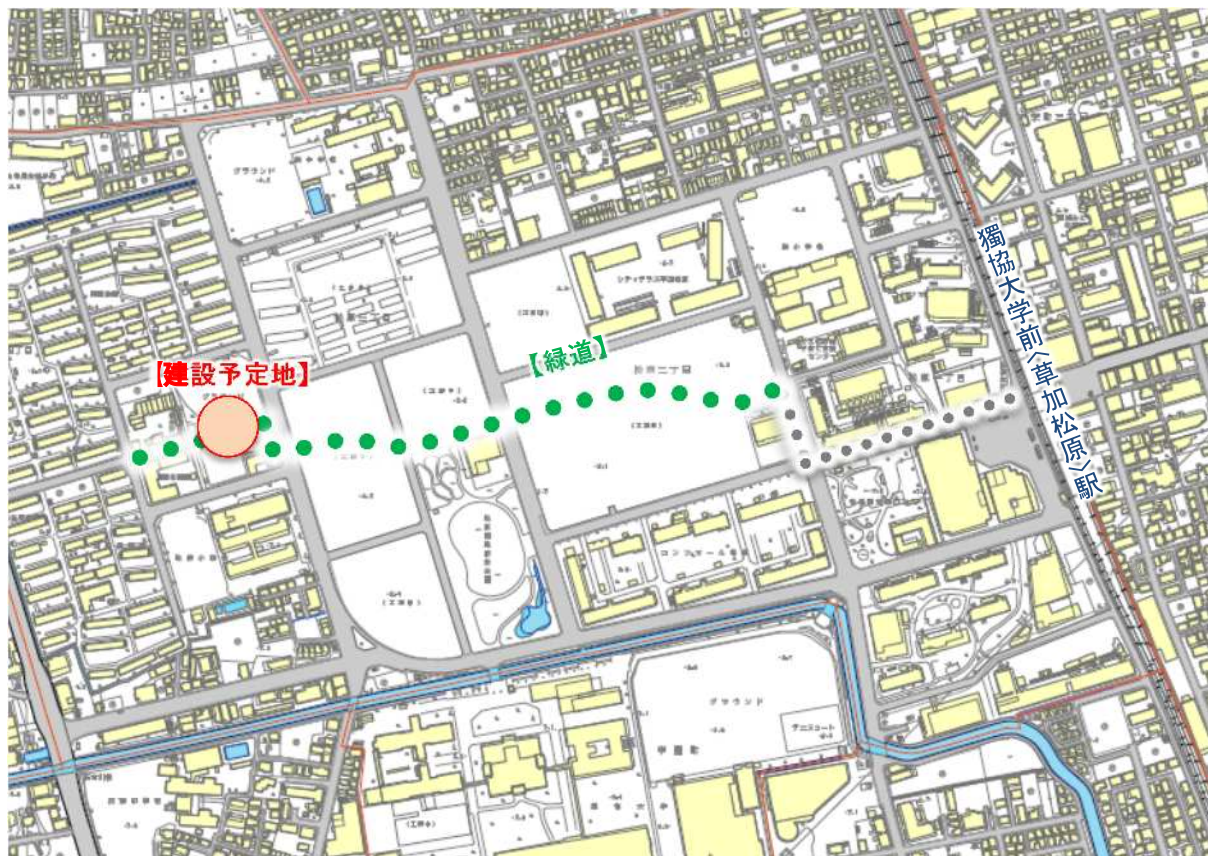
草加松原団地の老朽化に対応するために、獨協大学前〈草加松原〉駅の西側地区では平成17年頃より順次建替えを推進し、戻り入居も含めて大規模な入居が始まっています。新たな開発に伴う基盤整備が進められ、道路、水路や下水管の更新とともに、近年の集中的な豪雨への対策として地下雨水貯留槽が計画されています。

地区全体のライフラインは給排水、電気、通信、道路網などの再編が計画的に進められています。

(5) 外部交通条件

■最寄駅からのアクセス

建設予定地は、東武スカイツリーライン獨協大学前〈草加松原〉駅西口から、約1kmの距離に位置しています。



3 基本的な考え方

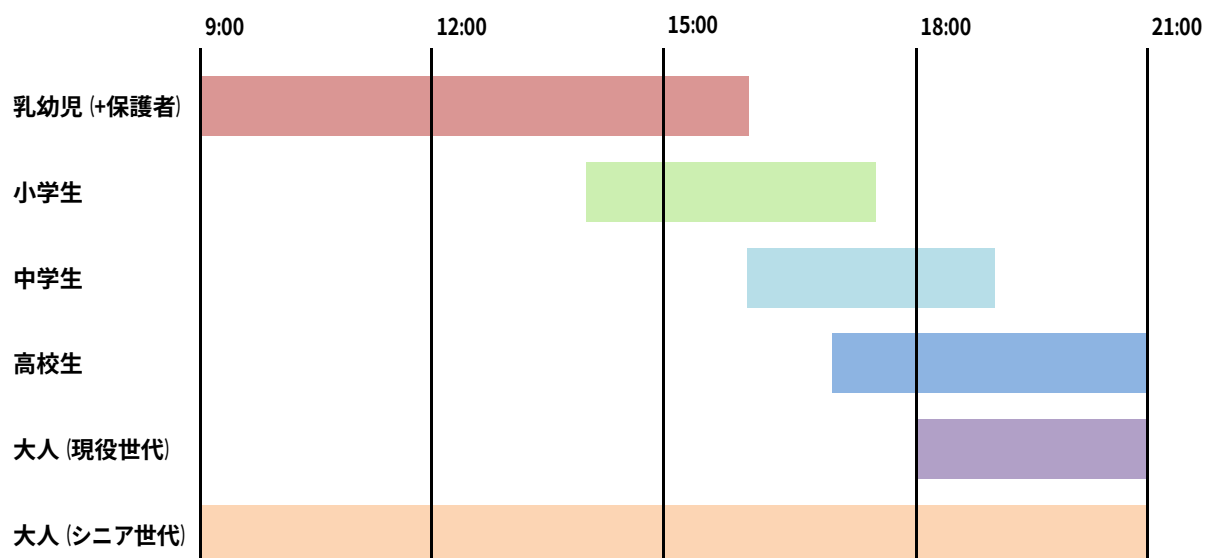
関係法令で定める基準及び市民検討会議での検討（詳細は「5 市民意向の把握」のとおり）を踏まえ、施設の基本的な考え方を整理しました。

なお、ここでまとめる諸室の内容、施設の配置、外構等については、現段階の案であり、今後、施設の基本設計・実施設計を行う際に変更が生じます。

(1) 利用計画

A.主な利用時間帯（世代別）

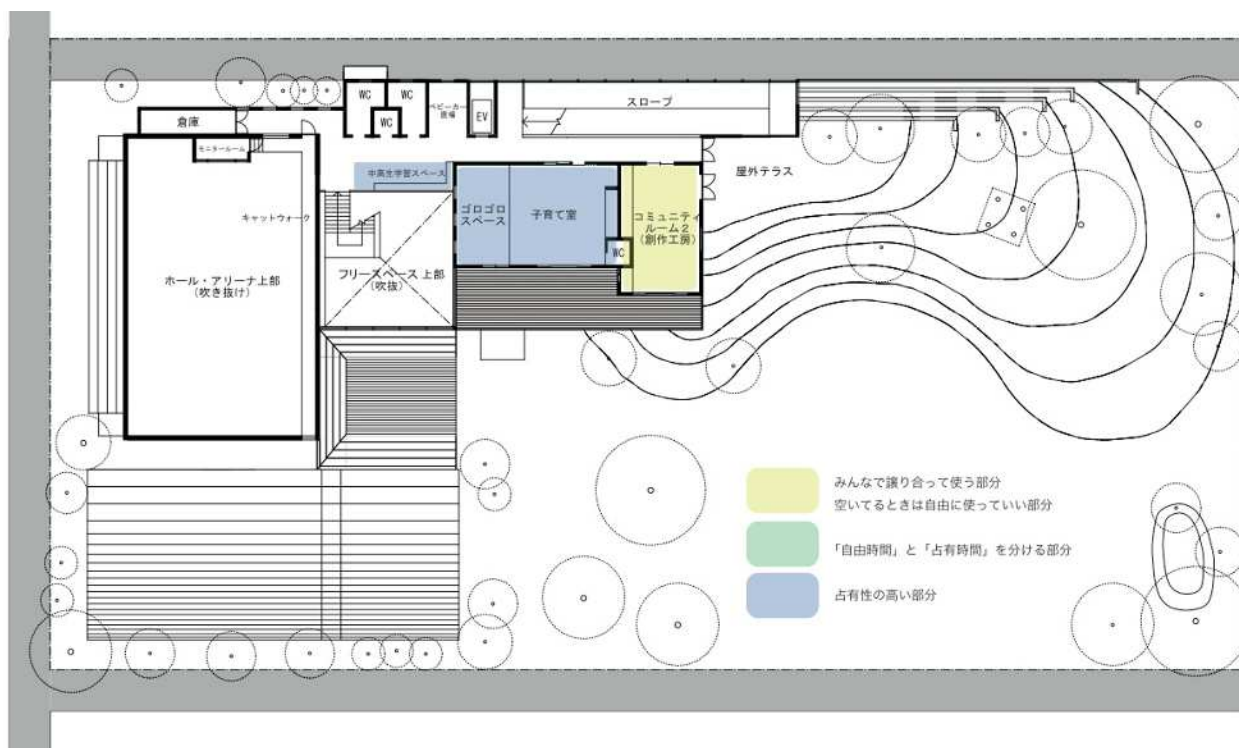
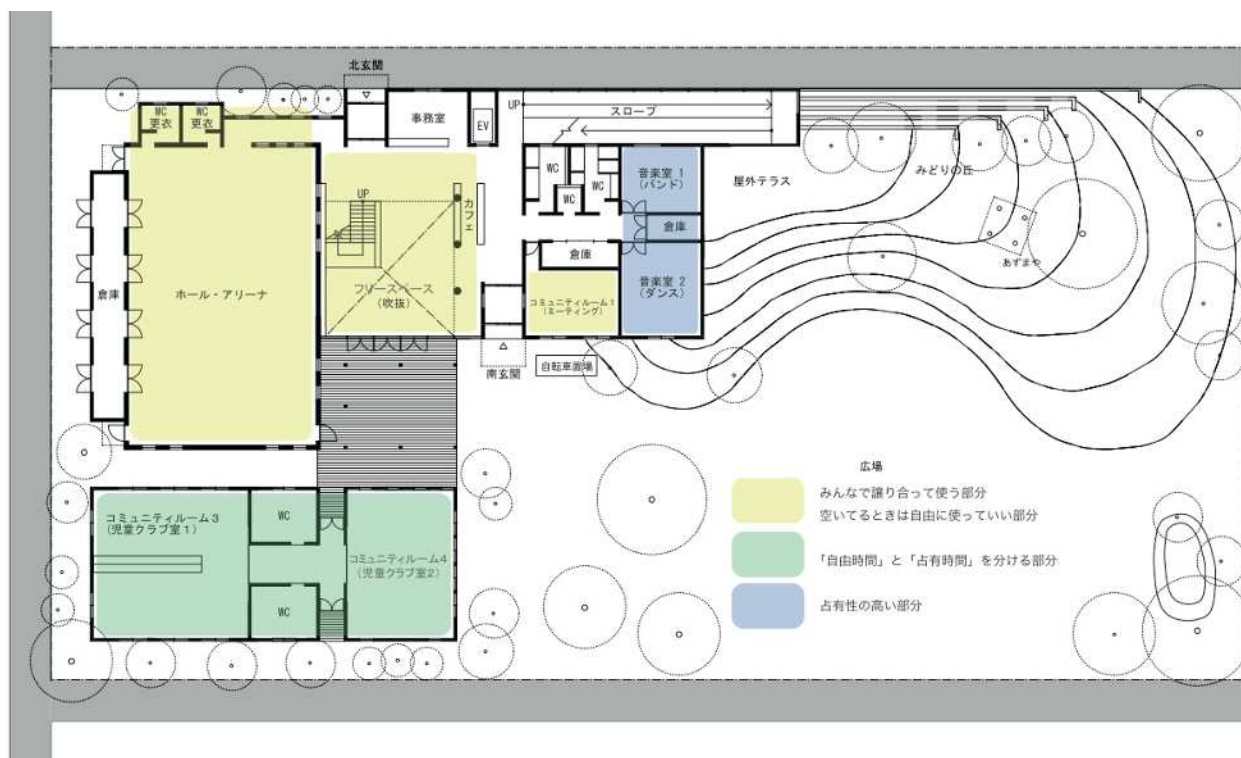
■各世代の児童センターへの来訪想定時間帯



※ このイメージ図は、各世代の主な利用時間帯（平日）を想定したもので、時間帯で利用者を区分するものではありません。

B.各室の使い分け

諸室の利用方法について、自由に利用できる部分と占有性の高くなる部分を次の図のとおり区分しています。



(2) 交通施設計画

駐車場台数、駐輪場台数について、草加市開発事業等の手続及び基準等に関する条例に基づき算出しています。

A. 駐車場

条例に必要な台数の基準はありませんが、主にテニスコートへの来訪者を見込んで、20台を確保しています。

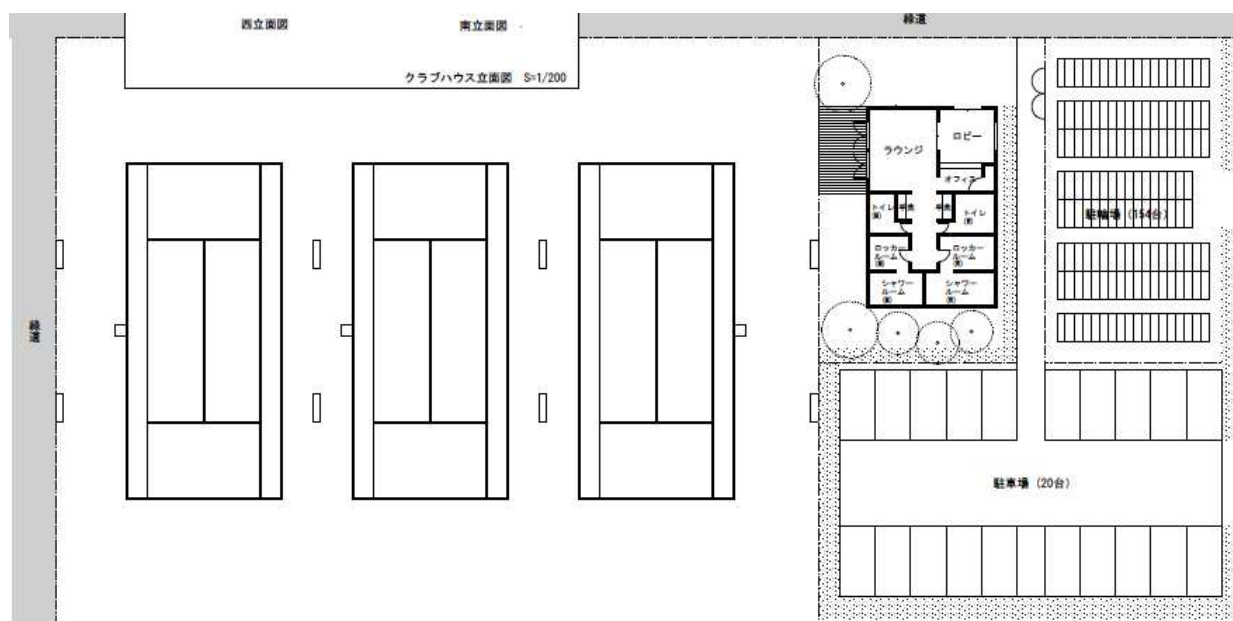
B. 駐輪場

条例の基準に基づく、(仮称)松原児童センター、テニスコートの必要台数は、次のとおりとなります。

- ・児童センター 63台
- ・テニスコート 80台

合計で143台以上確保する必要がある、本計画では154台と設定しています。

■テニスコート・クラブハウスに併設される駐車場、駐輪場



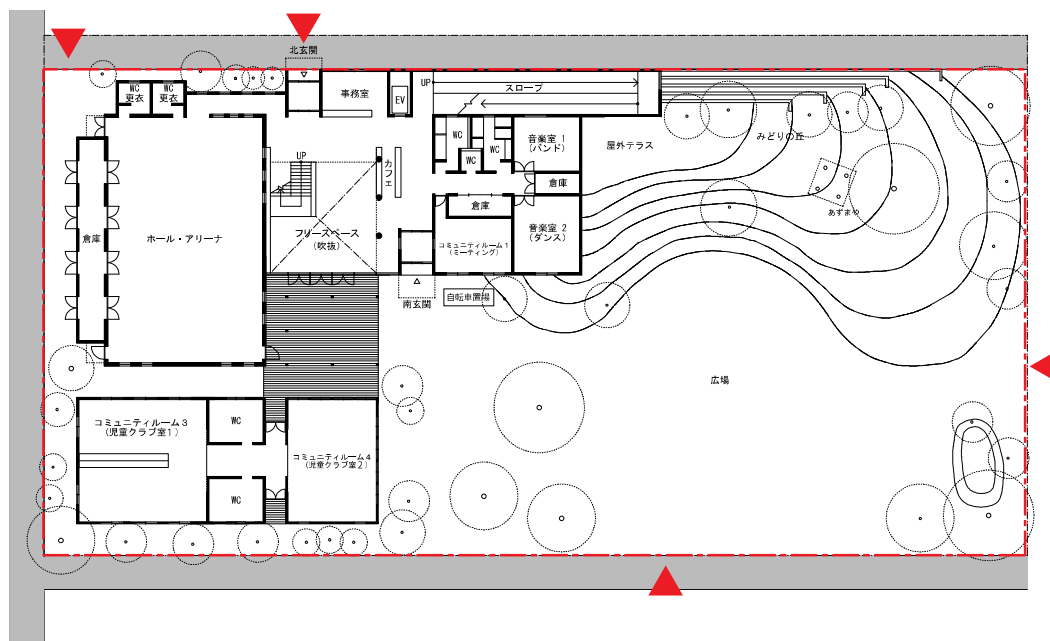
(3) 管理施設計画

施設の管理について、敷地境界に塀など囲障を設け管理する場合と敷地への出入は自由とする場合で、次の図のとおり2つのパターンが考えられます。

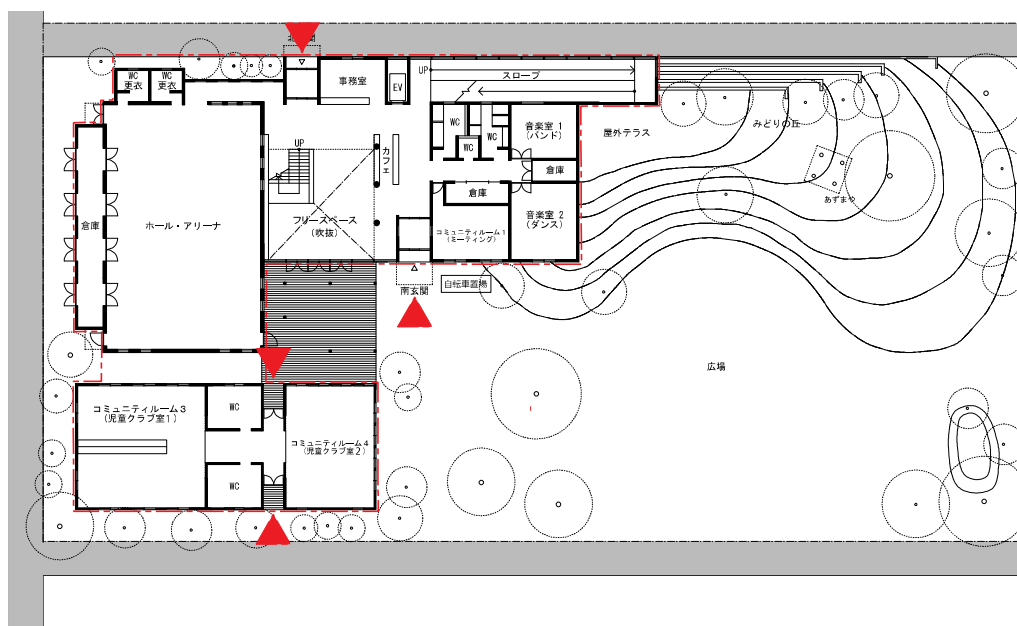
囲障を設ける場合は、外部から建物へのアクセスの自由度は低くなりますが、敷地全体の管理は行いやすいと考えられます。

囲障を設けない場合は、外部から建物へのアクセスは容易となる反面、特に開館時間以外の敷地全体の管理方法について、十分な検討が必要です。

■敷地境界に囲障を巡らせ施設を管理する場合



■敷地への出入口は自由とし、建物の入口で施設を管理する場合



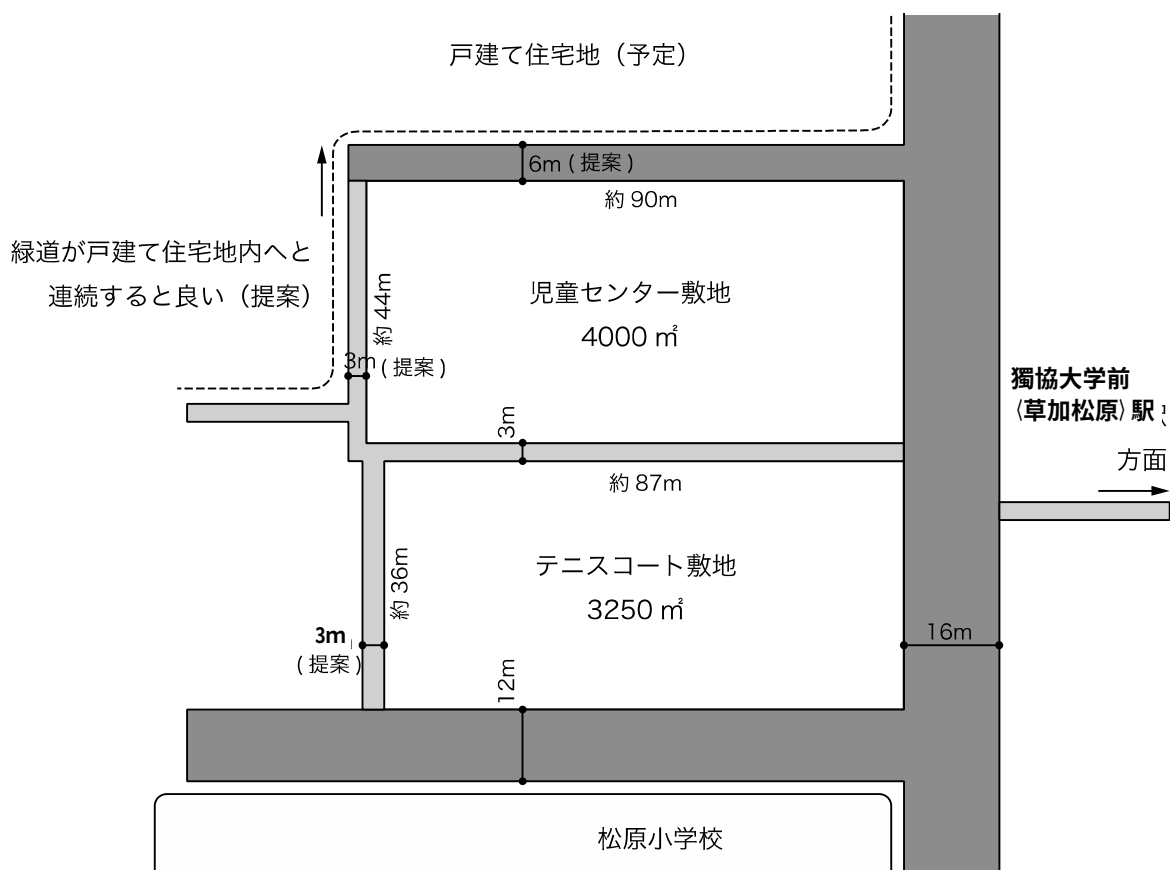
(4) 建築の基本フレーム(敷地内容、面積、階数、設備、計画動線)

A.敷地内容

敷地はほぼ平坦であり、北側には（仮称）松原児童センターの敷地、南側にはテニスコートの敷地が隣り合わせ、その境界部分を東西に緑道が走っています。この緑道は、グラウンドプランにおいて、獨協大学前〈草加松原〉駅から地区内を東西に貫く緑のプロムナードとして位置付けられています。

本計画対象地の北側には戸建て住宅地が予定されており、(仮称)松原児童センターをはじめ、藤幼稚園、松原小学校など、児童施設や教育施設が集中する地区を形成することとなります。

■敷地の形状



B.面積

「4施設の概要」に記載する平面図から算出した（仮称）松原児童センターの延べ床面積は1496.5㎡であり、建ぺい率は28.9%、容積率は37.4%となります。（諸室構成表参照）

（仮称）松原児童センター諸室構成

室名	主室 ㎡	付属室等 ㎡	合計 ㎡	内訳等 (数値は付属室の内訳面積・㎡)
[1階]				
ホール・アリーナ	308.00	81.00	389.00	トイレ18㎡、倉庫45㎡、下足コーナー18㎡
フリースペース	100.32		100.32	カフェコーナー含む
オープン階段	19.68		19.68	
事務室	24.00		24.00	
コミュニティルーム1	37.00	12.00	49.00	倉庫12㎡
音楽室(主にダンス向け)	35.00		35.00	壁面に鏡を設置
音楽室(主にバンド向け)	30.00		30.00	壁面に鏡を設置
音楽室共通倉庫		8.00	8.00	倉庫8㎡
トイレ(男女多目的合計)	35.00		35.00	
廊下		69.00	69.00	フリースペースの東側・北側を廊下として換算
北玄関		9.00	9.00	
南玄関		9.00	9.00	
スロープ		88.00	88.00	
エレベーター		8.00	8.00	
1階小計	589.00	284.00	873.00	
[2階]				
子育て室	94.00	4.00	98.00	(うちゴロゴロ32㎡程度)、子ども用トイレ4㎡、本棚4㎡
コミュニティルーム2 (創作工房)	58.00		58.00	
学習コーナー	20.00		20.00	吹き抜けに面したオープンなホール
トイレ	24.00		24.00	
バギー置場	12.00		12.00	
共通倉庫		12.00	12.00	倉庫12㎡
廊下		74.00	74.00	
スロープ	8.00		8.00	2階踊り場部分
モニタールーム	8.00		8.00	アリーナ上部
キャットウォーク	26.00		26.00	アリーナ上部
2階小計	250.00	90.00	340.00	
[別棟]				
コミュニティルーム3 (児童クラブ室1)	126.50		126.50	
コミュニティルーム4 (児童クラブ室2)	88.00		88.00	
トイレ	40.00		40.00	
廊下		29.00	29.00	
別棟小計	254.50	29.00	283.50	
合計	1,093.50	403.00	1,496.50	

C.階数

建設予定地の用途地域は、将来、第一種住居地域へと変更が検討されています。用途地域による高さ制限はないので、建物の配置によっては4、5階建ても可能ですが、本施設は極力高さを抑える計画としています。

北側には落ち着いた戸建て住宅地が形成されることが想定されていることから周辺環境の調和を図るとともに、建築コストを抑制するため、スポーツや屋内の遊びに利用するホール・アリーナを除き、他の諸室は2階建てとしています。

また、本施設は、主に子どもたちが利用する施設であることを考慮し、接地性に配慮し活発な外遊びを促すため、2階から「みどりの丘」にも出入が可能な計画としています。

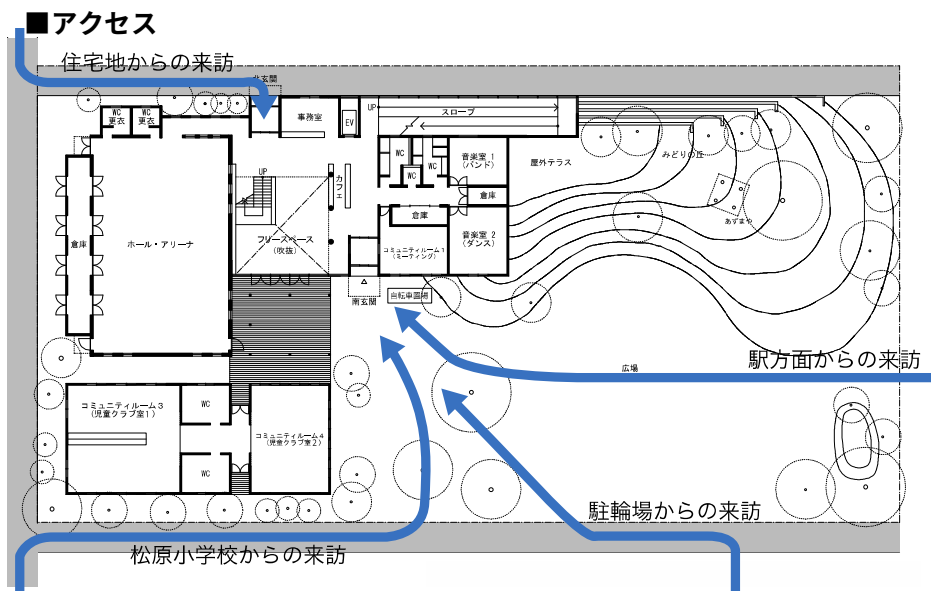
なお、北側の第一種中高層住居地域への日影と道路斜線による規制があります。

D.設備

- 給水設備…直圧直結方式とします。受水槽は被災時の非常用飲料水として期待できますが、衛生面からの不安要素と初期コスト及びランニングコストの削減のため採用は見送りました。
- 排水設備…公道に埋設されている線とのレベル差によっては、敷地内を走る污水排水管に非常用のマンホールトイレを設置することも検討できます。なお、雨水浸透を図りたいが、当該地区は地下水位が高いため、効果は期待されにくいです。
- 電気設備…太陽光発電や風力発電など、小規模発電を取り入れることで自然環境への負荷を軽減することが推奨されていますが、トータルコスト、トータルエネルギーの観点から実施段階における検討が必要です。

E.計画動線

施設へは南側からの来訪がとて多いことが予想されます。北側からは住宅地に移入してくる若い世代の子どもたちが来訪することも予想されます。南側の広場に気軽に入ることのできる南側からの来訪を受け止めるために、南玄関を設けています。



(5) 建築平面計画

■センター棟と別棟をデッキでつなぐ

将来の児童クラブの利用者の増加を受け止めるために、別棟にコミュニティルームを設けています。

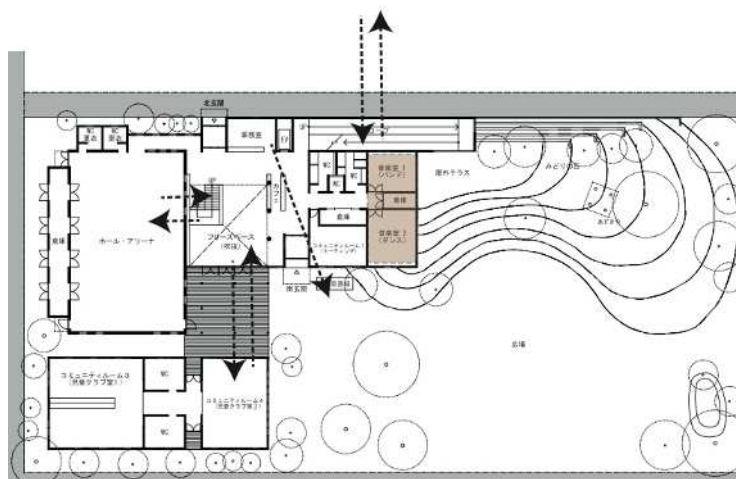
児童クラブの子どもたちは、児童センターを利用する一般の子どもたちとは行動パターンが異なるため、独立感のある別棟に配置しています。また、別棟は広場への接地性が高くなります。



■1階: フリースペースは全体の活動を相互に感じ取る

各部屋が分離されているのではなく、お互いに様子が感じられたり視覚的にも見えることで、利用者相互に関心を持ちながら過ごすことができる空間づくりを考慮しました。その中心にあるのがフリースペースです。屋外からの出入には必ずここを通るため、事務室からも視認しやすくなっています。

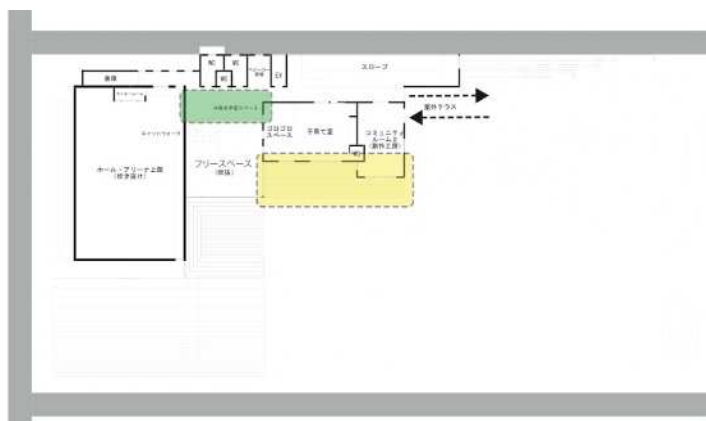
音楽室は音が漏れにくいようにみどりの丘の地下室のように配置しています。



■2階: テラスと丘

2階の2室は施設全体の中では独立性が高いです。未就学児が安全に過ごすことができ、創作に集中することができる配置としています。

学習コーナーや創作工房は、2階にありながらすぐ屋外に出ることもできます。屋外空間を活用したイベントも可能です。



(6) 建築断面計画

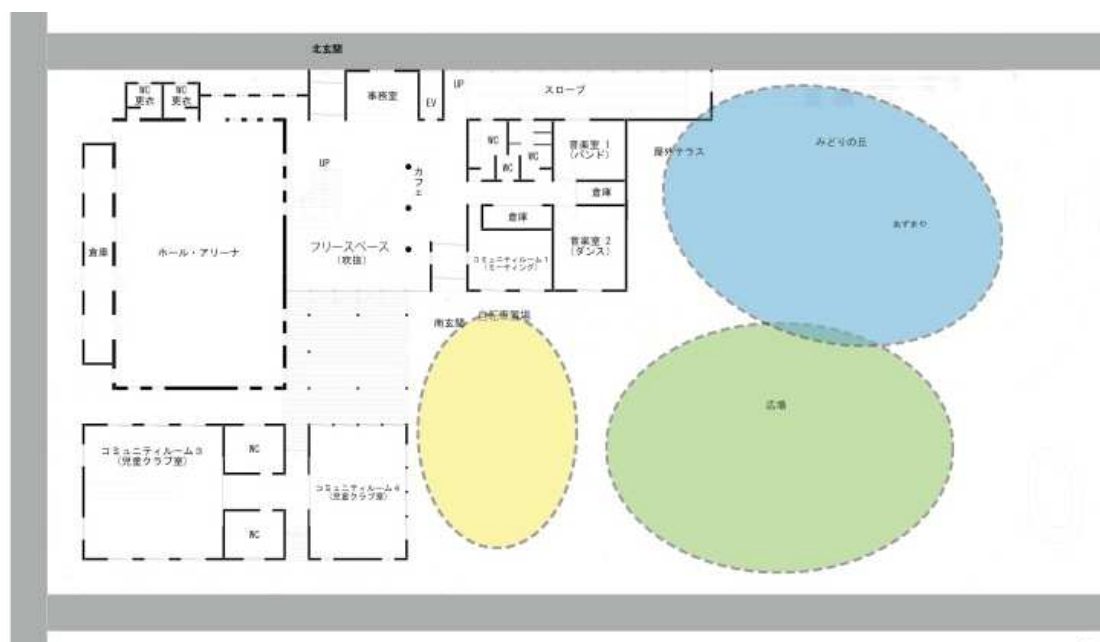
フリースペースは平面だけではなく、断面としても諸室の中心の役割を果たします。中学生の学習コーナーは、中学生にとってはちょっとしたロフト気分を味わえるとともに、1階との空気や目線は十分につながりを保ち、お互いの気配を感じ取ることができます。親子連れで来訪した保護者が子育て室で下の子どもをあやしながら、1階で遊んでいる上の子どもの声を聞くことができます。

上下の移動が外からも部屋からも感じ取れるのも大きな特徴です。シースルーのスロープは、バギーを押して上下する親子の様子が通りから見えます。通常は閉鎖的な建築物の北側が、非常に開放的なつくりとしています。1階と2階の移動もフリースペースにオープン階段として設えました。通常は居室から見えない階段室ですが、ここでは人の動きがどこにいてもお互いによく見えます。



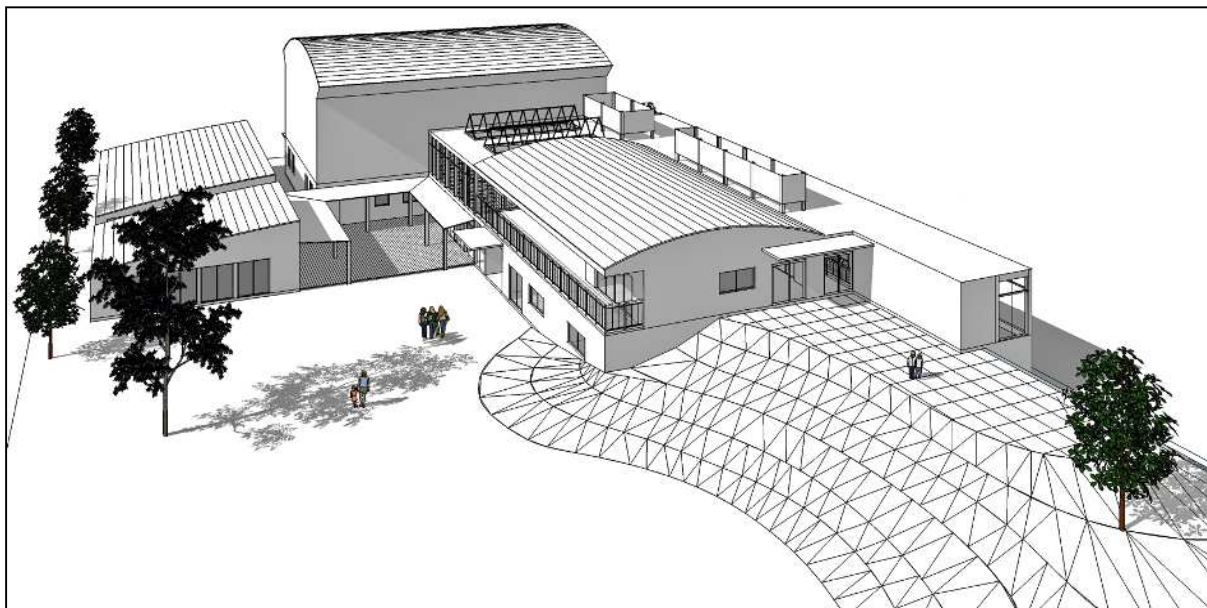
(7) 外構・屋外空間の計画

松原団地は平らな地形が広がっている変化に乏しい地区です。このため、本計画では「みどりの丘」を設けました。2階から直接出入することができるよう、高さは3mとしています。獨協大学前〈草加松原〉駅方面から来訪する際、「みどりの丘」が出迎えてくれます。この丘に囲まれるように南側に日当りの良い広場を設けています。敷地内で直線50mを確保したのは、グランドゴルフにも使えるようにするためです。L型に配置された建物に挟まれるように庭を設けました。ダイナミックな広場での活動に対し、静かに過ごすこともできる落ち着いた空間を意図しています。

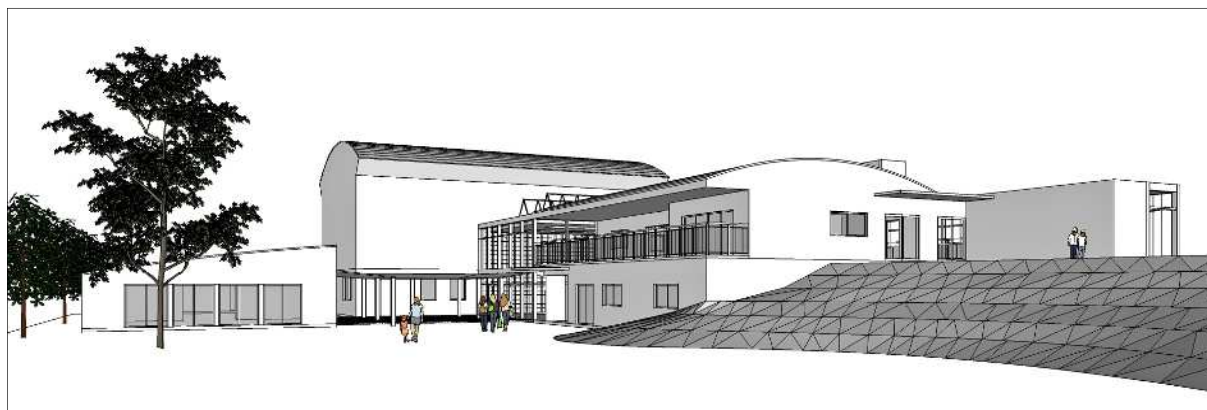


(8) イメージ図

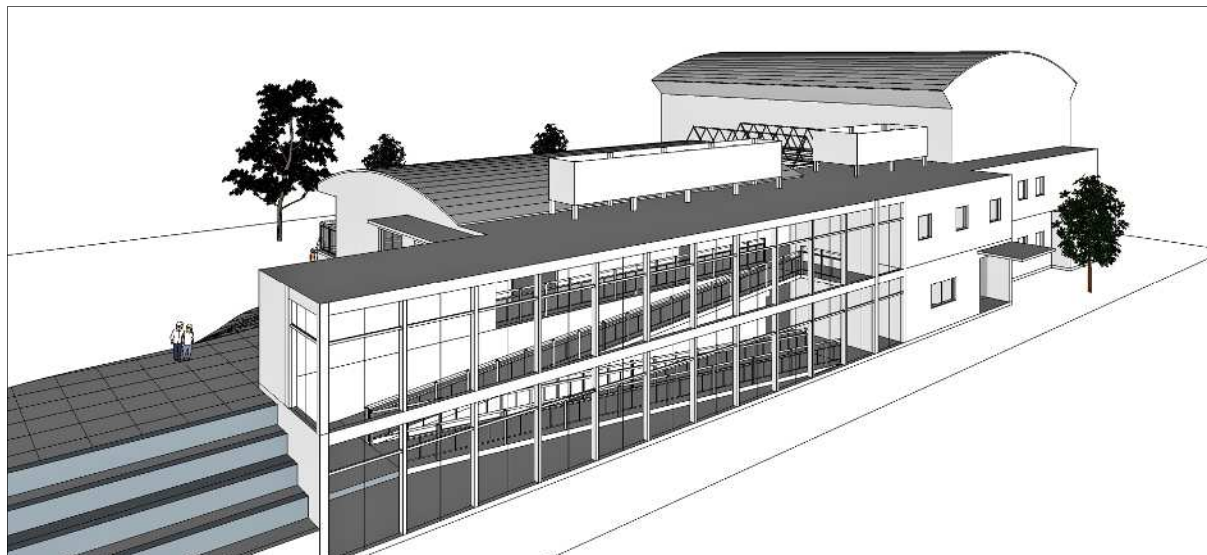
■南側 1



■南側 2



■北側



■屋内（フリースペース）



(9) ライフサイクルコストの縮減

建物のコストをとらえる場合、これまでの考え方ではイニシャルコストとランニングコストによって構成されると整理しています。しかし、近年は誕生から廃棄に至る全てのコストをより詳細に把握することで総コストをより低く抑える方法が確立されています。

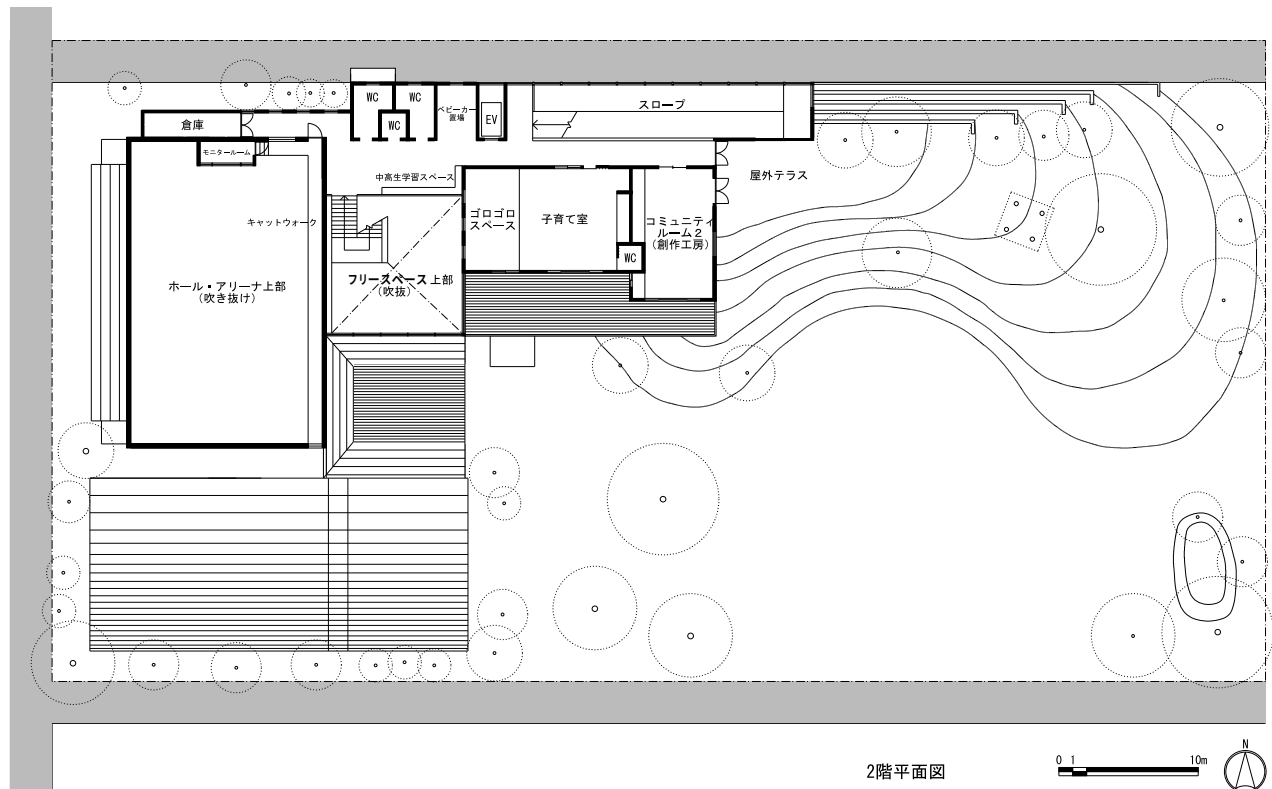
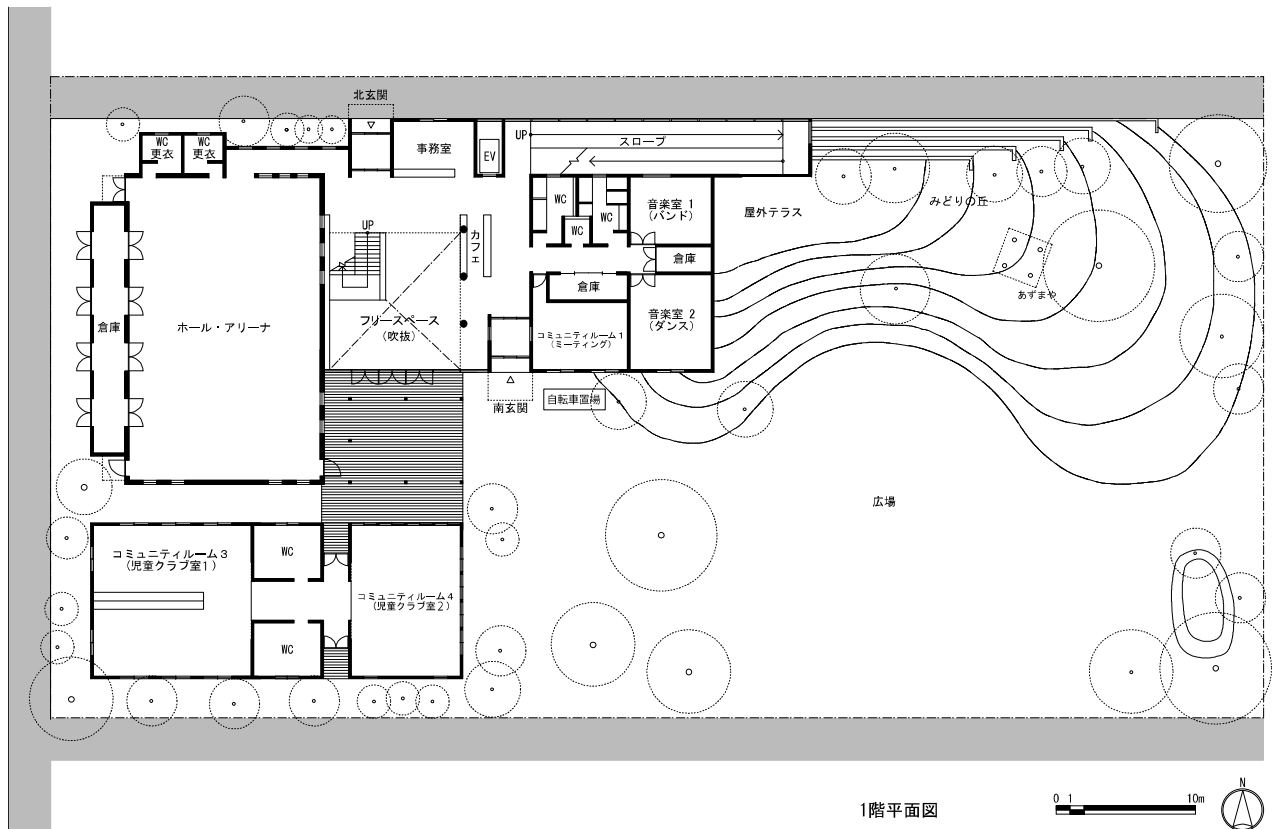
例えば、ランニングコストでは点検・保守のコスト、修繕・（運営の）改善コスト、光熱水等のコストに加え、リノベーションを伴う用途転換を通じて第2の役割を果たしたり、廃棄処分に至るまでを考慮することになります。

このためには、リサイクル性の高い素材を使うことはもちろん、リノベーションしやすいプラン、建物の規模や用途に応じた設備計画、ライフサイクルエネルギーの観点からとらえることも求められるようになってきています。

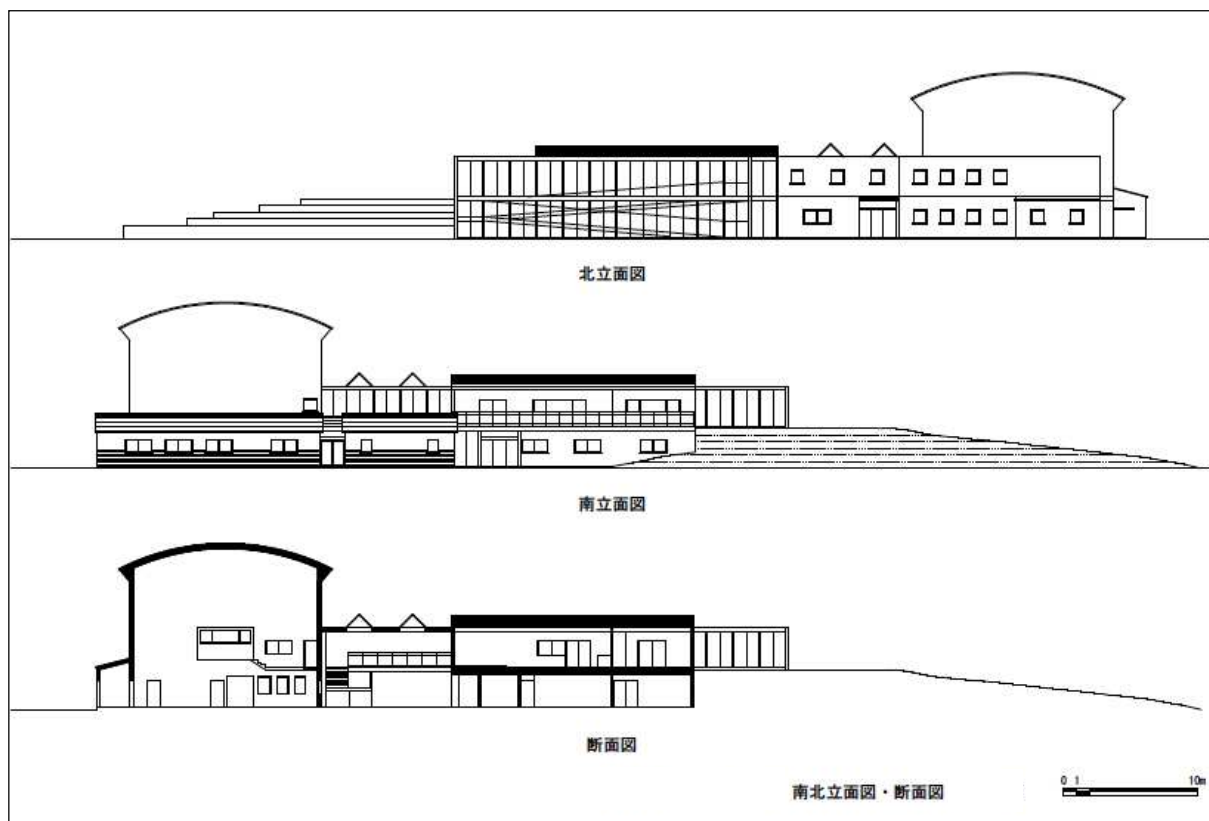
本計画では、地形に変化をつけることで、あたかも地下室のような環境を生み出すことにより、空調や防音に対するコストを軽減することや、別棟の諸室の用途を児童クラブのニーズや地域の人口構成に応じて、コミュニティルームから児童クラブ室へと転換し、また戻すという変化の対応を考えています。

4 施設の概要

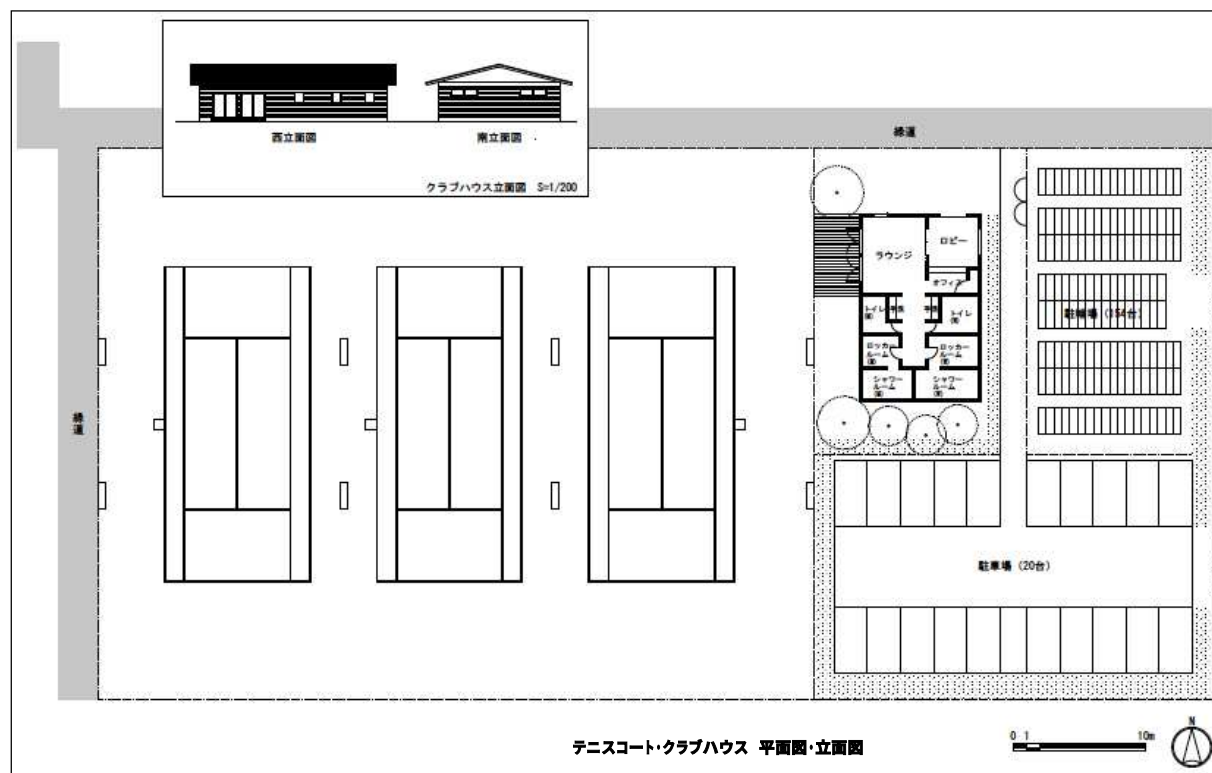
(1) 平面図



(2) 立面図・断面図



■テニスコート・クラブハウス



(3) 模型(写真) ※市民検討会議にて使用



(4) 概算事業費

名称 建築概要	建築面積 (㎡) 延床面積 (㎡)	総工費 (千円)	㎡単価 (千円)
1. (※) 四ツ谷の児童館・老人館 所在地 : 新宿区本塩町 竣工年月: 1990 年 3 月 主体構造: RC 造・一部 S 造 規模 : 地下 2 階 + 地上 3 階建	239.07 1224.78	528,390	431.41
2. 川上町立児童館 (子供の城 遊豊ドーム) 所在地 : 岡山県川上町 竣工年月: 1992 年 8 月 主体構造: 大断面木造トラス膜構造 規模 : 地上 1 階	2394.27 2377.70	515,706	216.89
3. (※) ゆう杉並 所在地 : 杉並区 竣工年月: 1995 年 5 月 主体構造: RC 造・一部 S 造 規模 : 地下 1 階 + 地上 2 階建	1857.96 2895.71	1,837,889	634.69
4. 大和町もみじヶ丘児童館 所在地 : 宮城県大和町 竣工年月: 1996 年 9 月 主体構造: S 造・一部 RC 造 規模 : 地上 1 階建	695.19 646.14	176,130	272.59
5. (※) ふれあいエスプ塩竈 所在地 : 宮城県塩竈市 竣工年月: 1998 年 7 月 主体構造: RC 造・一部 S 造 規模 : 地上 3 階建	2534.76 4167.34	1,338,750	321.25

- ・ RC 造一部 S 造 (※) の、建設費単価の平均値を算出→462.45 千円。
- ・ 本計画の延床面積 1496.50 ㎡を乗じて建設費を推計→692,056 千円。

■概算工事費は約7億円と推計できます。

5 市民意向の把握

(1) 検討会議の概要

（仮称）松原児童センターは、「児童館」の機能だけでなく、高校生や大学生を始め、地域の幅広い人たちが利用できるまちの拠点とするため、多くの方の意見や要望を聞き、みんなが使いたくなるデザインとなるように検討を行いました。

平成 28 年度に策定した「（仮称）松原児童センター基本構想」の検討段階から、地域の町会・自治会、地域にお住まいの方、子どもやまちづくりの活動を行っている団体や個人の方、そして高校生や大学生も含めて、幅広い年代の方に参加いただき「（仮称）松原児童センター市民検討会議」を開催しています。

平成 29 年度も引き続き、この市民検討会議を開催し、市民参加によるデザインを専門とする早稲田大学参加のデザイン研究所の卯月盛夫教授を中心としたコーディネーターが、図面や模型等を用いてワークショップ（WS）形式で進行了しました。

また、検討会議に加えて、幅広い住民の意見を聞くために 4 月 29 日の「春の子どもフェスタ」でのシール貼りアンケート調査を実施するとともに、5 月には音楽の専門家と乳幼児を持つ親を対象としたヒアリング調査を行いました。

■開催スケジュール

・住民意向シール貼りアンケート調査

日時：平成 29 年 4 月 29 日 10～14 時 場所：草加春の子どもフェスタ

・専門家等ヒアリング調査

ー草加市演奏家協会会長 平成 29 年 5 月 20 日

ーNPO 法人草加ジュニアオーケストラ理事長 平成 29 年 5 月 20 日

ー氷川児童館 幼児と来館している保護者（母親） 平成 29 年 5 月 22 日

・第 6 回市民検討会議

日時：平成 29 年 7 月 21 日 18～20 時 場所：子育て支援センター

・第 7 回市民検討会議

日時：平成 29 年 8 月 7 日 18～20 時 場所：子育て支援センター

・市民説明会（整備する諸室の変更について）

日時：平成 30 年 1 月 26 日 18～20 時 場所：子育て支援センター

・第 8 回市民検討会議

日時：平成 30 年 2 月 15 日 18～20 時 場所：子育て支援センター

第 9 回市民検討会議

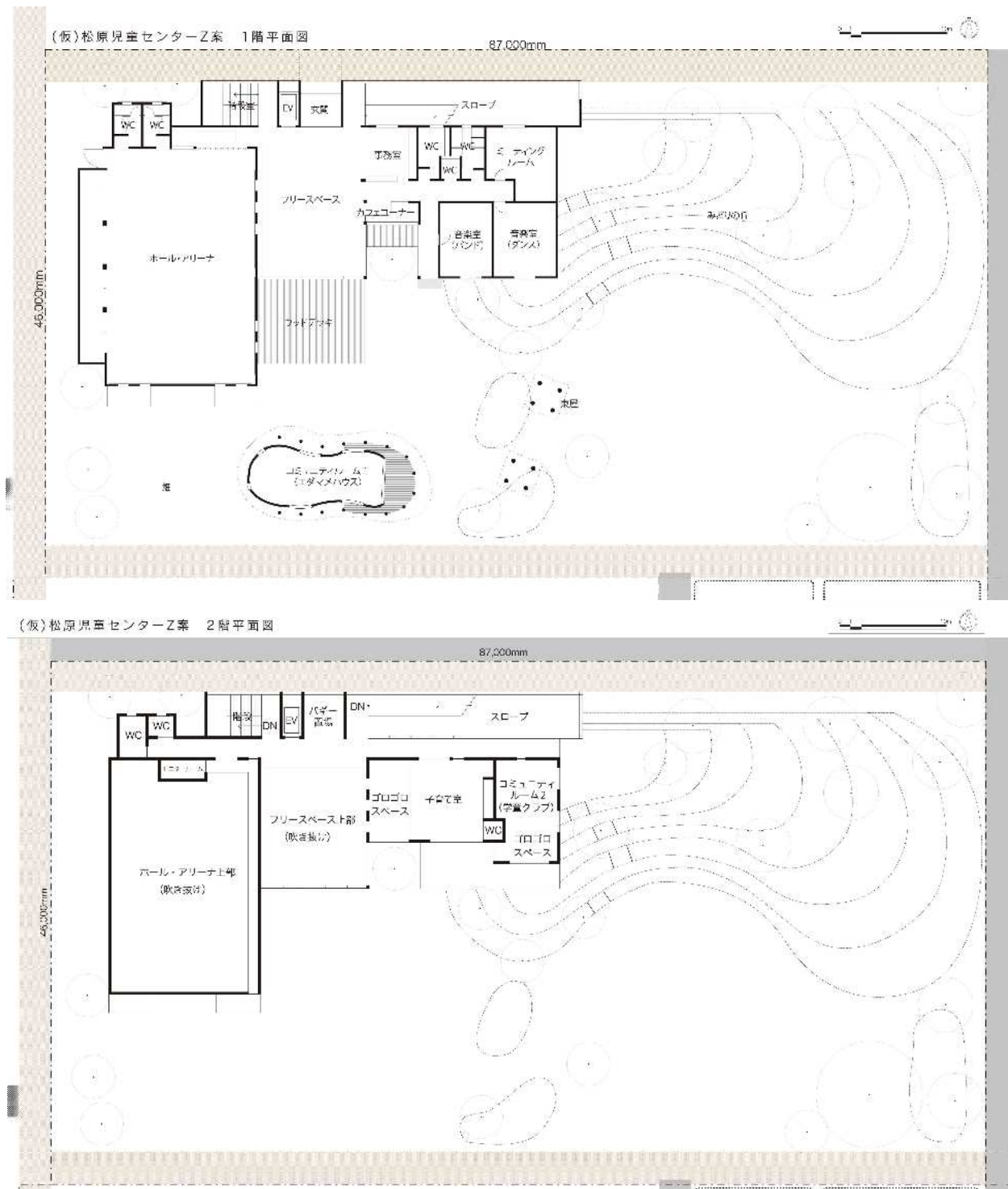
日時：平成 30 年 3 月 13 日 18～20 時 場所：子育て支援センター

(2) 検討の経過

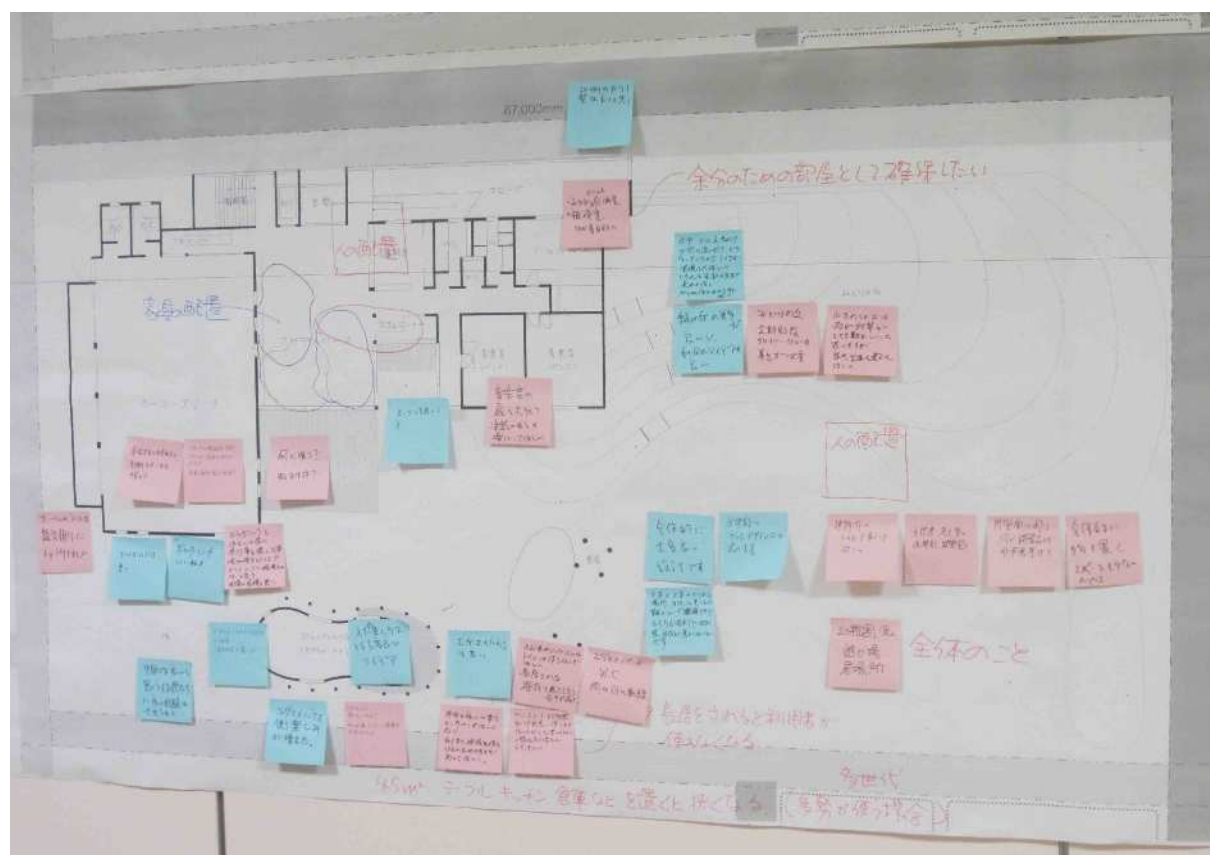
①第6回会議（平成29年7月21日）

- ・ 前回のふりかえり
- ・ 第5回会議から第6回会議までの経過説明（ヒアリングなど）
- ・ Z案の説明と意見交換

■Z案（前年度のX案とY案をもとにしたもの）



■第6回会議の様子



■第6回会議の意見

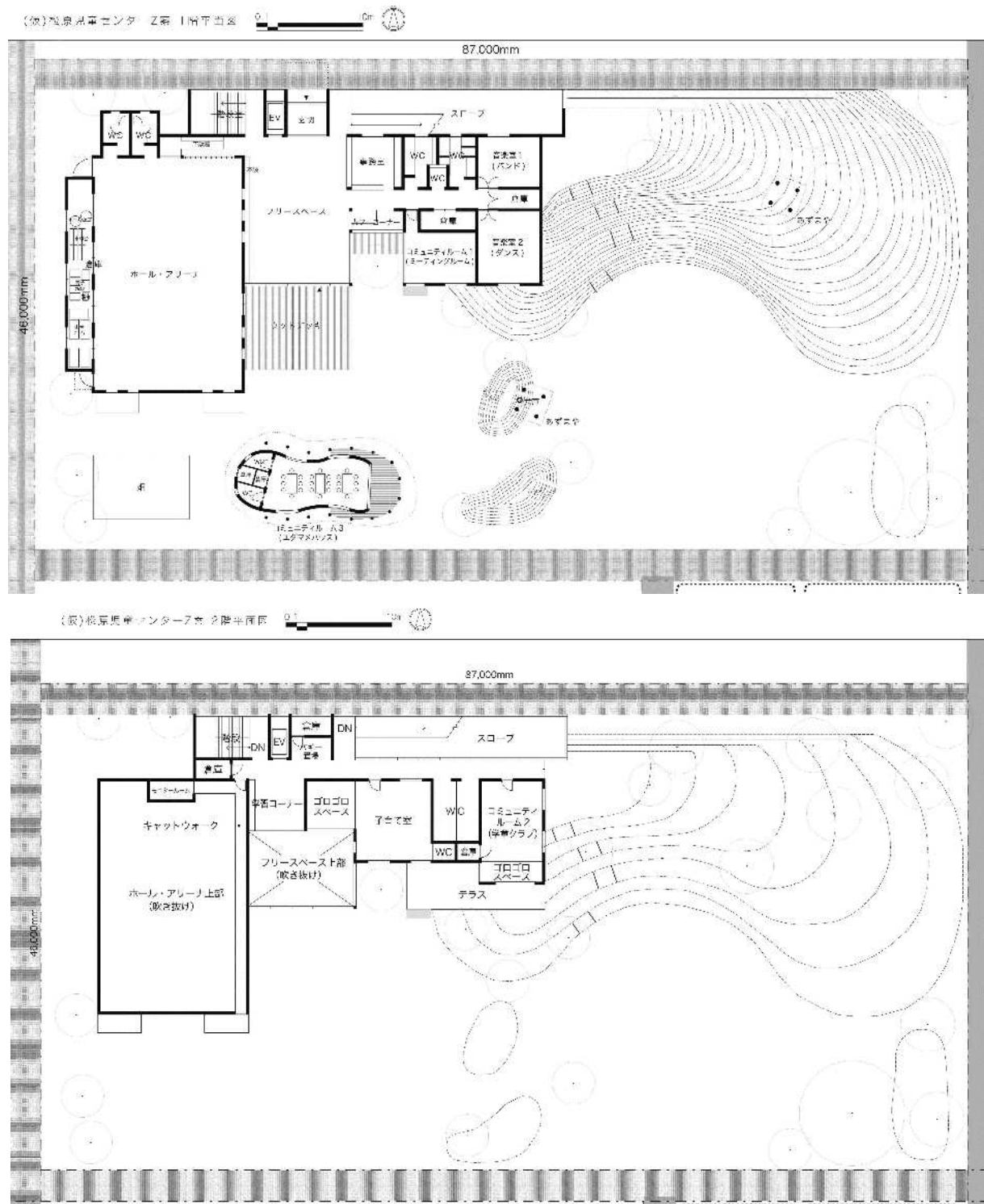
1階	
ホール・アリーナ	●ホールの入り口を舞台側に1ヶ所ほしい
	●卓球台なども含めると収納スペースは十分か？
	●アリーナの使われ方はその都度用具を出すのか？予約制にするのか？
ボルダリング	○ボルダリングはいいね
	○ボルダリングは良い
	●ボルダリングを作るには常に専門員を置く必要があるのでは！！
	●ボルダリングは遊具ではないと思う。非常に危険と思う
フリースペース	○(カフェコーナー周辺は) オープンな感じで良い
	●デッキは何に使うのか？雨よけは？
	●フリースペースの家具の配置は？
	●人の配置は？(全体を通して)
音楽室	●扉を大きくして楽器の出入りを楽にしてほしい
ミーティングルーム ↓ コミュニティルーム 1	●子どもイベント会議室、相談室など多目的に
	●余分のための部屋として確保したい
エダマメハウス	○アイデアはとても良い。使われ方が楽しみ
	○使う楽しみが増えた
	○大変良いアイデア
	○エダマメハウスは良い
	○畑は良いと思う(子どもたちに良い経験をさせられる)
	●狭くないか？45㎡にテーブル、キッチン、倉庫などを置くと狭くなる(多勢が使う場合)
	●外に水道、トイレという意見はどうなったか？
	●トイレは？雨の日の動線は？
	●エダマメハウスにはトイレは作らないでほしい、長居される、専有されてしまうおそれがある。長居をされると利用者が使えなくなる
	●弁当を食べに来るところにはしてほしくない。あくまで施設を使う人のためのものであってほしい
	●テニスコート利用者が休憩室に使うようなことはしてほしくない、一線を

2階	
子育て室	●対象の年齢は？幼稚園児のゴロツとする場所（がほしい）
コミュニティルーム2	●学童のトイレは？
その他	●中高生のたまりばになれる部屋がない。フリースペース2階半分くらいで中高生室（学習室）を！本棚など
	●少し落ち着いた学習コーナーがあるとよい
	●フリースペースがたまり場になる →ならないのではないか？
	●2階から入れることは管理上安全か？
	*子育て室と学童クラブは入れ替えてもよいか？
屋外	
みどりの丘	○緑の丘の形が良いし利用のアイデアも良い
	●みどりの丘は定期的なクローバーなどの養生が必要
	●山まわりの土は雨水対策がとても難しいと思うが良い方法を考えてほしい
	*人の配置
水の流れ	●井戸、または山まわりの水の流れはどうなっているのでしょうか？実現してほしい。できれば平面の方まで流れてほしい。30cmくらいのせせらぎで良い
全体・その他	
	○全体的に大変良い設計
	○グッドデザインだ
	○下足と上足のとりかえ場所、方法は相当難しい問題がありそう。もちろん反対ではなく良い方向に考えてのことだ
	○北側のガラス壁は良いと思う
	●建物内にトイレを多くして欲しい
	●子どもたち、老人等に医務的対策室は？
	●防災面に関して何か備蓄品とか非常食は？
	●全体的に物を置くスペースが少ないのではないか？
	●全体的に幼稚園児の遊び場や居場所が課題

②第7回会議（平成29年8月7日）

- ・ 前回のふりかえり
- ・ Z 案修正案の説明と意見交換
- ・ 今後の進め方

■Z 案（修正案）





■第7回会議のまとめ

X案に対する質問や意見と、それに対する回答／修正の考え方

1階	前回の意見や質問 (○いいね／●気になる点)	回答／修正の考え方
ホール・アリーナ	●ホールの入り口を舞台側に1ヶ所ほしい	舞台横に1ヶ所、倉庫に3ヶ所設置 →修正図面参照
	●卓球台なども含めると収納スペースは十分か？	山台72、いす250、卓球台3、楽器スペースほか →修正図面参照
	●アリーナの使われ方はその都度用具を出すのか？予約制にするのか？	※次年度以降の検討課題
ボルダリング	○ボルダリングはいいね	
	○ボルダリングは良い	
	●ボルダリングを作るには常に専門員を置く必要があるのでは！！	※次年度以降の検討課題
	●ボルダリングは遊具ではないと思う。非常に危険と思う	
フリースペース	○(カフェコーナー周辺は) オープンな感じで良い	
	●デッキは何に使うのか？雨よけは？	暑さや日よけは設置。雨よけは設置しない
	●フリースペースの家具の配置は？	※次年度以降の検討課題
	●人の配置は？(全体を通して)	※次年度以降の検討課題
音楽室	●扉を大きくして楽器の出入りを楽にしてほしい	収納スペース設置、間取りを変更 →修正図面参照
ミーティングルーム ↓ コミュニティルーム 1	●子どもイベント会議室、相談室など多目的に	収納スペース設置、間取りを変更。「コミュニティルーム1」として多用途に対応させる →修正図面参照
	●余分のための部屋として確保したい	
エダマメハウス	○アイデアはとても良い。使われ方が楽しみ	
	○使う楽しみが増えた	
	○大変良いアイデア	
	○エダマメハウスは良い	
	○畑は良いと思う(子どもたちに良い経験をさせられる)	
	●狭くないか？45㎡にテーブル、キッチン、倉庫などを置くと狭くなる(多勢が使う場合)	広さは適当、倉庫は室内と室外にも設置 →修正図面参照
	●外に水道、トイレという意見はどうなったか？	トイレは室内のみ、散水栓設置 使用時のみ開室しスタッフが常駐の方針 ※詳細は次年度以降の検討課題
	●トイレは？雨の日の動線は？	
	●エダマメハウスにはトイレは作らないでほしい、長居される、専有されてしまうおそれがある。長居をされると利用者が使えなくなる	
	●弁当を食べに来るところにはしてほしくない。あくまで施設を使う人のためのものであってほしい	
	●テニスコート利用者が休憩室に使うようなことはしてほしくない、一線を	
		テニスコート利用者は専用クラブハウスを利用

2階	前回の意見や質問 (○いいね／●気になる点)	回答／修正の考え方
子育て室	●対象の年齢は？幼稚園児のゴロツとする場所 (がほしい)	間取り変更 →修正図面参照 幼稚園児は1階フリースペースを利用 ※フリースペース詳細は次年度以降の検討課題
コミュニティルーム2	●学童のトイレは？	間取り変更 →修正図面参照
その他	●中高生のたまりばになれる部屋がない。フリースペース2階半分くらいで中学生室(学習室)を！本棚など	間取り変更、学習スペース設置 →修正図面参照 ※フリースペース詳細は次年度以降の検討課題
	●少し落ち着いた学習コーナーがあるとよい	
	●フリースペースがたまり場になる →ならないのではないかな？	学童クラブ室にはスタッフ常駐 ※次年度以降の検討課題
	●2階から入れることは管理上安全か？	
	*子育て室と学童クラブは入れ替えてもよいかな？	間取り変更 →修正図面参照
屋外	前回の意見や質問 (○いいね／●気になる点)	回答／修正の考え方
みどりの丘	○緑の丘の形が良いし利用のアイデアも良い	あずまやを丘の中腹に配置 →修正図面参照
	●みどりの丘は定期的なクローバーなどの養生が必要	※次年度以降の検討課題
	●山まわりの土は雨水対策がとても難しいと思うが良い方法を考えてほしい	
	*人の配置	
水の流れ	●井戸、または山まわりの水の流れはどうなっているのでしょうか？実現してほしい。できれば平面の方まで流れてほしい。30cmくらいのせせらぎで良い	あずまや付近に井戸設置 →修正図面参照
全体・その他	前回の意見や質問 (○いいね／●気になる点)	回答／修正の考え方
	○全体的に大変良い設計	
	○グッドデザインだ	
	○下足と上足のとりかえ場所、方法は相当難しい問題がありそう。もちろん反対ではなく良い方向に考えてのことだ	
	○北側のガラス壁は良いと思う	
	●建物内にトイレを多くして欲しい	2階のトイレを増やす
	●子どもたち、老人等に医務的対策室は？	事務室で対応
	●防災面に関して何か備蓄品とか非常食は？	松原小学校で賄う方針
	●全体的に物を置くスペースが少ないのではないかな？	各所に収納スペースを増やす
	●全体的に幼稚園児の遊び場や居場所が課題	フリースペースや庭を使う方針 ※詳細は次年度以降の検討課題

第7回をふりかえっての意見や感想

- 回数を重ねていただいて感謝。ただ最初に思っていた中高生も満足出来る居場所というのがぼやけてきてしまったことが残念。
- 出発点である中高生の居場所ということが生かされるよう最後までご努力をお願いします。
- 面白いデザインになった。運営についてはもう少し中高生の意見を反映したい。
- 小学高学年から中高生の施設にしてほしいです。
- 小さい子向けの施設がほしいことはよくわかりますし、声を出せる人の意見は聞いてもらえます。ですが、声をあげることができることを知らない中高生の意見を私たち大人は考えてあげたいと思います。
- こどもがフラッと来て・遊べる・しゃべれるのはフリースペースのみ（ではないか）。なるべく空間をひろくお願いします。狭いながらこどもと成長していける児童館を。
- いろんな思いのつきあわせ、大変ですね。基本は何か「こども」児童センターということ、特定の団体、チームの使用ということではないゆるやかな「自由」をこどもたちに担保してあげてほしい。後は運営の仕方、ここが一番重要ですね。おつかれ様でした。
- こどもは大人のようにずうずうしくないので、こどもの時間（自由）をきちんと保証してほしいと思います。
- 貸し施設ではなく、いつでもこどもたちが自由に来て遊べるセンターにしていきたいです。
- それほど大きくない中に0歳から中高生までを対象とするのは、しっかりした管理が必要だと思います。
- Z案作成までこぎつきました。おつかれ様でした。今後は運営、管理面を中心に考えたい。
- 井戸（あづまや）場所を移動できないですか。
- 最終的にどうなるか結論が出ていないので、2月頃の集まりには予定が確定に近いプランを見当したいと思います。決定を決める会にしてほしいと思います。
- 今日はまだ基本的な指摘がいくつか出たので2月まで検討会がないのですか？
- 多々意見を採用してもらい良い検討会だったと思います。良いセンターになることを（こども・老人ともに）期待します。
- みなさま、様々な視点、利用者目線での捉え方にハッと気付かされました。
- 全7回に渡る検討会議に参加させていただきありがとうございました。これまでの話し合いから最終的に市民全体を巻き込んでいけるような施設になっていくことを願っております。
- 数回参加させていただきました。参加者の立場によってどういう施設がほしいのかは異なり、いろいろな意見が聞けて勉強になりました。
- いろいろと見当していくと思っているものが出来上がるのか、出来上がるのだと思っていたけどやっぱり温度差があるのかなあ。

③市民説明会（平成30年1月26日）

- ・児童クラブ室を2室追加する理由について説明
- ・質疑応答

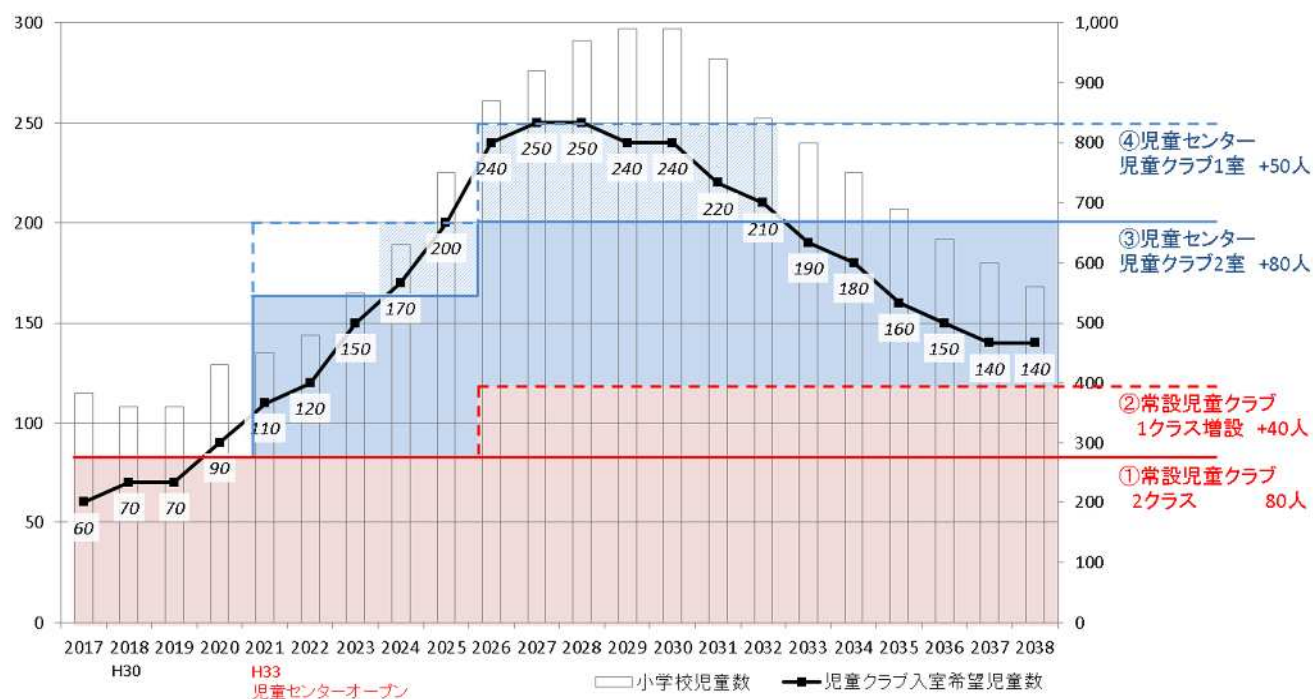
■児童クラブ室を2室追加する理由

松原団地C・D街区の開発に伴い、今後、松原小学校の児童数の増加が見込まれ、松原児童クラブについても、現在の登録上限80人を大きく上回り、入室希望児童は、ピーク時には250人程度まで達すると予測される。

松原児童クラブは、松原小学校の校舎内に複合施設として設置されている。

松原小学校の校舎には、児童クラブ1室分の拡張可能スペースがあるが、拡張しても120人の受入が限界であるため、小学校に隣接する（仮称）松原児童センターに、児童クラブ室を2室追加し、児童クラブのニーズ増に対応する。

松原児童クラブ入室希望予測と対応策



松原児童クラブ登録上限 80人 ①

平成33年(2021年)度 児童センターに児童クラブ室を3室整備 →130人増 ③+④

平成38年(2026年)度頃 松原小学校内の児童クラブを拡張 →40人増 ②

(仮称)松原児童センター 諸室構成の変更

[変更前]

✓フリースペース
✓ホール・アリーナ
✓乳幼児室
✓音楽室1
✓音楽室2
✓コミュニティルーム1(会議室)
✓コミュニティルーム2(児童クラブ室)
✓コミュニティルーム3(調理・工作室)



[変更後]

✓フリースペース
✓ホール・アリーナ
✓乳幼児室
✓音楽室1
✓音楽室2
✓コミュニティルーム1(会議室)
✓コミュニティルーム2(調理・工作室)
✓児童クラブ室(3室)
→うち1室は、共用可能な仕様とする。
=コミュニティルーム3

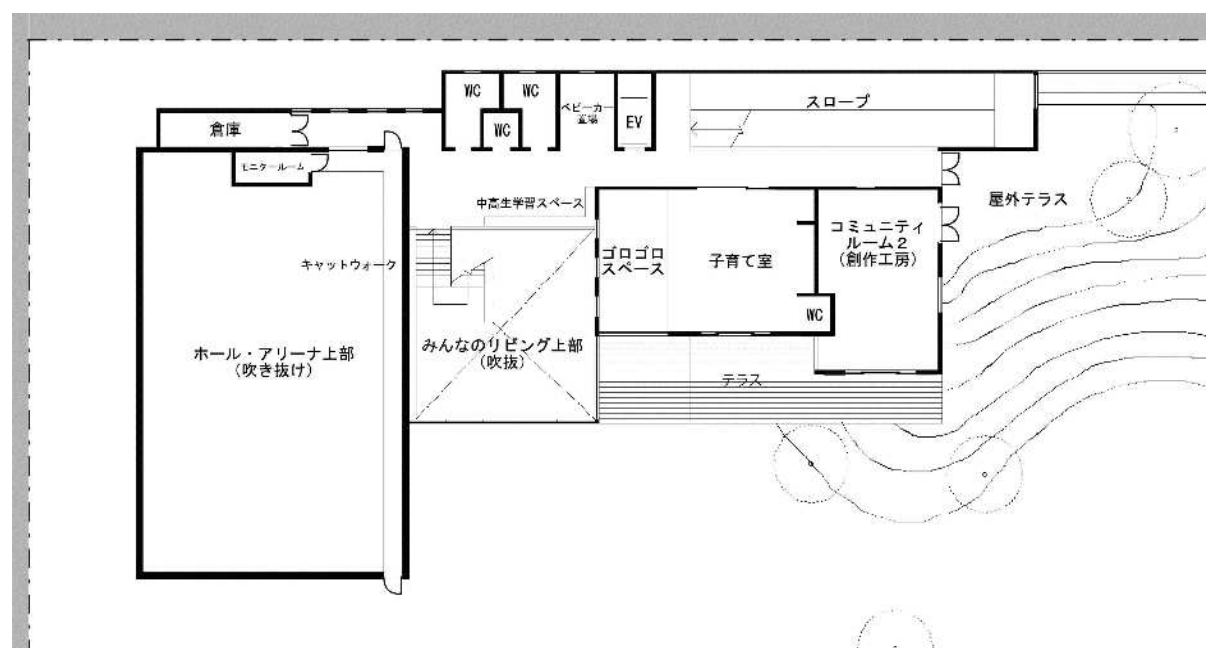
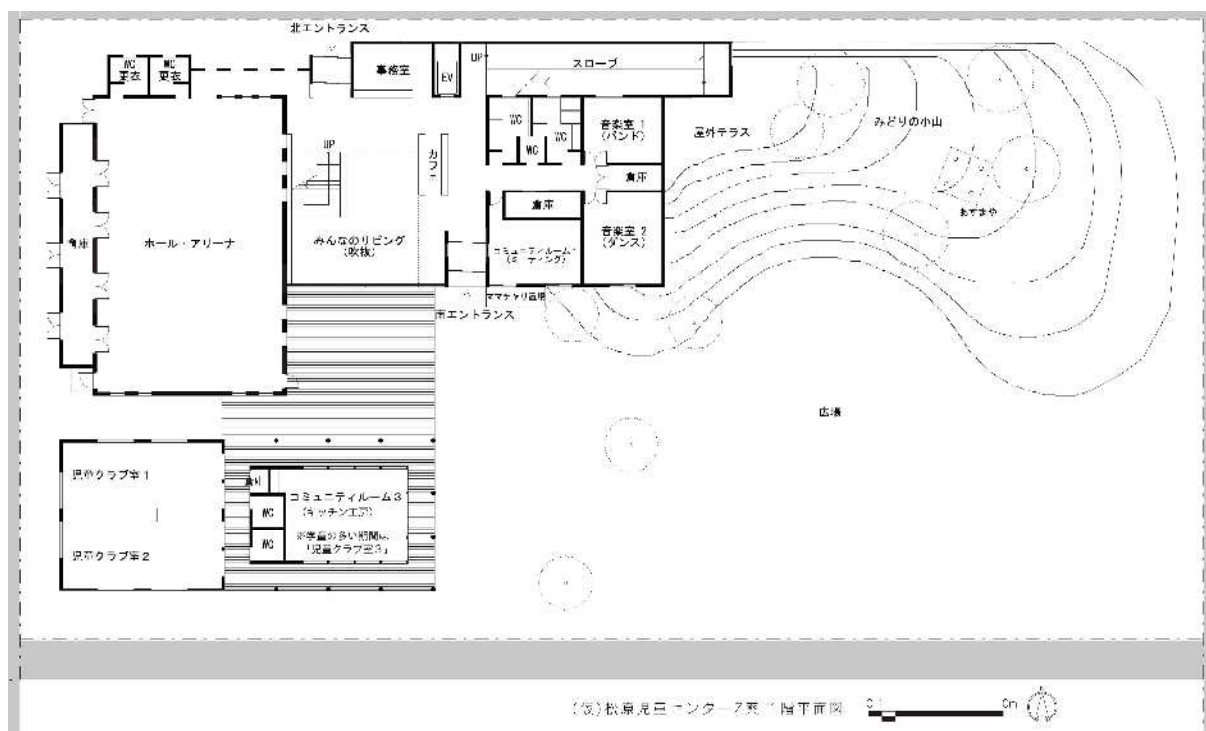
■主な意見・質問と回答

- ・児童クラブの部屋として増設する分、床面積は増えるのか。 →増設した分、床面積は増える。
- ・周辺地域の他の場所に児童クラブの部屋が使えないから、児童センターに児童クラブ室をつくるというのは、子どもに失礼だ。 →児童クラブに入っていると、放課後に遊ぶ友達がクラブの子だけになっているケースがある。児童クラブが児童センターにあることでほかの子どもと交流できるメリットもある。
- ・児童クラブに入室する子どもが増加する原因は何か。 →松原小学校の児童数の増加と児童クラブの入室ニーズの急増による。
- ・松原小学校の児童数が増加した際、児童クラブの部屋を教室として転用することは考えられるのか。 →設えが違うため、転用はできない。(松原小学校は教室と廊下に壁がないオープン型)
- ・児童クラブの使用が、急に3室になるわけではないのでは。 →児童数に応じて、使用する室数は変わる。児童クラブで使わない期間は、部屋は共用する。
- ・建替後の団地で、C・D街区が新規で300世帯入る。(800世帯のうち500世帯が戻り希望のため、残りが300世帯)300がどの世代か・家族構成かはわからない。
- ・エダメハウスは1階建か。 →平屋建を考えている。
- ・団地は高齢化もあり単身世帯が増える。児童センターを交流拠点として機能させたい。
- ・児童クラブ室の空間は、いかに他の用途で使えるかということも加味してデザインする必要がある。
- ・児童クラブの部屋が2室増えることで、これまで議論していた従来の考え方と使い方が変わってくる。児童クラブが児童センターにあると、学校の関係がそのまま引き継がれてしまう。学校にいけない子どもの居場所としては機能しにくい。これまで考えていた児童センターの役割を果たせるのか。 →重要な意見であり、運営面での工夫が必要。

④第8回会議（平成30年2月15日）

- ・前回のふりかえり
- ・学童室2室追加の経過など説明
- ・本棟案と別棟案の比較・デザイン案（Z案）の説明
- ・意見交換

■別棟案の説明



A.本棟に児童クラブ3室案と、B.別棟に児童クラブ3室案の比較

2018.02.15 第8回仮称松原児童センター市民検討会議

	A案 本棟内	B案 別棟
配置について	・2階フロアに3室整備する。部屋が増えることで、 建物も東西方向（山側）に延長する。	・児童クラブ3室を 別棟として整備 する。 ・別棟はエダマメハウスと同様に、アリーナ南側へ配置する。
児童クラブの独立性	2階フロアは、ほぼ児童クラブの専用空間となるため、児童クラブの独立性は比較的高い。	別棟のため、児童クラブの 独立性は高い。
出入口・導線	既存の入り口のほかに、「緑の丘」頂上から出入りする。	広場から直接出入。 （出入口・導線は本棟と完全に分離される。）
屋外空間への影響	緑の小山が縮小。	南側の建物スペースが増えるため、 畑部分が削られる。
一般利用者（児童や青少年）の利用への影響	比較的影響は高い。 児童クラブの児童と一般利用者の使い分けの検討が必要。また館内に児童が多くなるため、 青少年が利用しづらくなるおそれがある。	A案に比べ、比較的影響は少ない。
児童クラブとして3室使用しない時期について	整備当初は、児童クラブとして3室利用しないため、他用途での利用が可能。	整備当初は、児童クラブとして3室利用しないため、他用途での利用が可能。本棟と分離していることから、地域活動への解放など 用途の自由度が高い。
児童クラブのニーズ縮減後の他用途への転用	将来的に児童クラブが不要となった場合の利用を検討する必要がある。 改装は可能だが、延床面積を縮小することができない。	本棟はRC造としても、別棟については 別工法（鉄骨造、木造）とすることも可能 であり、児童クラブの児童数の増減により、壁の間仕切り変更等、 増改築の対応がしやすい。 ＝延床面積を縮小することもできる。
建築コスト	B案よりは抑制できる。	別棟の規模が大きくなると建築コストは高くなる。
管理	・同一建物内であるため、管理面の手間の増加は少ない。 ・利用者について、事務室から入退室を比較的把握しやすい。 ・フリースペース上の吹抜けを通じて2階の気配を感じることはできるが、視覚的に相互の様子を把握しにくい。	・別棟となるため、管理の手間は、やや増加する。 ・空間的には離れているが、広場、フリースペースを通じて、視覚的に相互の様子は把握しやすい。
A案・B案共通で配慮すべき内容	・児童クラブ室が2室で十分な時期における 3室目の利用がフレキシブルにできる工夫が必要。 ・児童クラブの子どもと一般利用の子どもが、 それぞれの居場所感を持ちつつ、適度に交流できる ような運営面、設備面の工夫が必要。	

→以上の比較を踏まえ、今後の社会状況や子ども・青少年を取り巻く環境の変化に対応しやすく、様々な利用者の居場所づくりに適した「**別棟案**」を採用したい。

■第8回会議の様子



■第8回会議のまとめ

1 階	意見や質問
ホール・アリーナ	・更衣室脇入口、車いすが入るのは難しそう。車いすでアリーナに入れるのか？ ・アリーナの扉を観音開きに。イベント時便利なのは引き戸。
みんなのリビング	・リビングをどういう設えにするのか？重要。 ・中高生も居やすい雰囲気に。 ・大人がリビングを占有しないことが大事。
カフェ	・カフェで受付をしてもよいのでは？ ・南エントランスから入場した人のチェックができるように。(事務室では遠い)
音楽室倉庫	ドラムなど楽器を収納するのに十分なスペースがあるか？
ミーティングルーム	管理者用にシフトしてしまった感じがある。
本棟WC	幼児用が必要。(女性)母親が使いやすいWCを。
児童クラブ室	・児童クラブ・子育てクラブの資料やスタッフの居場所は？ ・児童クラブ3室になると数十名の職員規模になる。 ・児童クラブ職員の事務机(3～4台)があるとよい。
別棟WC	・児童クラブは家庭の延長。靴を脱いだらそのままWCへ行けるように。 ・児童クラブ夜19時まで利用。トイレ利用に一旦外へ出ると冬の寒さはつらい。 ・外に出て土足でトイレに行かないといけない。 ・120人用のトイレ、車いす用のトイレの検討。 ・児童クラブと外部の人が使うトイレ。ちょっと心配？ ・健常者児ばかりではないことを考えると、靴を履いてのWCはないだろう。
デッキ	ホール・アリーナとデッキでつないだらおもしろそう。

2 階	意見や質問
子育て室	子育て室とコミュニティルーム2を入れ替えては？
コミュニティ ルーム2	・創作工房と名前をつけるのは限定しすぎでは？ ・中高生の居場所は？充実してほしい。 ・中高生ミーティング用の資料を置くところは必要。 ・ふらっと来た中高生がいる場所がほしい。ミーティングルームとごっちゃになっている。 ・オープンなところだけでなく、かたまってひっそりといいたい中高生もいる。 ・時間帯で使い方を工夫し、中高生が使えるようにする。
中高生学習スペース	・学習スペースを吹き抜け側に出っ張らせては？広くする。 ・曲線にするとか魅力的にしたら。 ・ベビーカー置き場と交換もあり？

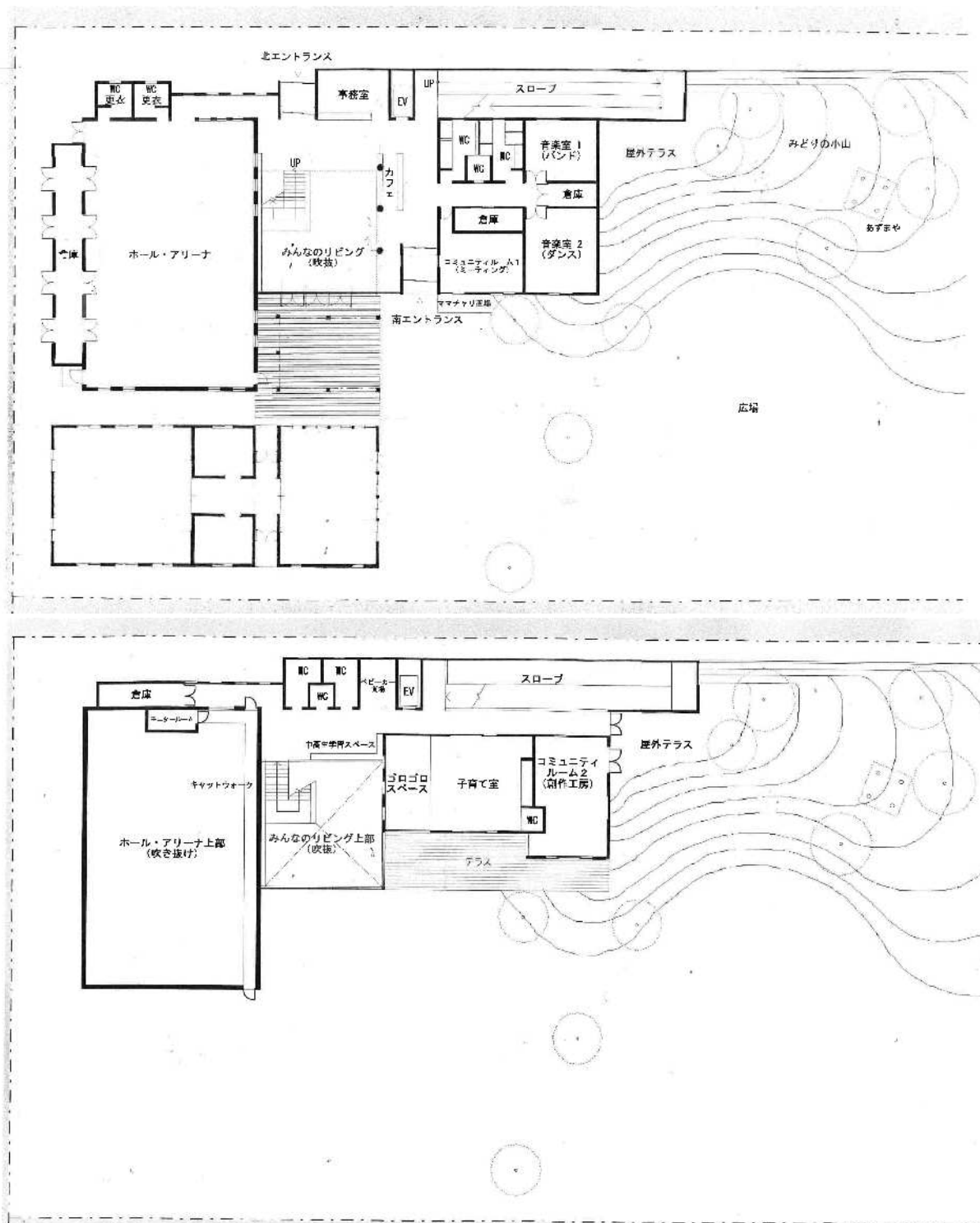
屋外	意見や質問
WC	・外で使えるトイレは？ ・テニスコートのトイレを使えるならば屋外トイレを設けてはどうか。
水場	・水場が必要。 ・外遊び後に、手足を洗える場が必要。

全体・その他	意見や質問
	ふたつがある相乗効果。いい運営ができるのではないかな。
	運営に市民がかかわれるようにしてほしい。
	小さい部屋は占有されやすいのではないかな？
	ぼつぼつ来る児童は、ある程度時間が経ってからやりたいことがでてくるが、その時は児童クラブに占有されているようでは困る。
	使い始めた後やめさせるのは難しい。空いているのになぜ使わせないのか。
	学童かそうじゃないかは大人の目線。子どもたちは一緒。団体利用かどうかの問題。
	小学生から中高生がごろごろできる場所がほしい。

⑤第9回会議（日時：平成30年3月13日）

- ・ 前回のふりかえり
- ・ デザイン案（修正案）の説明
- ・ 意見交換

■デザイン案（修正案）の説明



■市民が考えた児童センターの基本となる考え方

市民検討会議でまとめた松原児童センターの基本計画

基本となる考え方

1. 平らな地形の広がる松原団地の、新たなランドマークとなる建物です。
2. なだらかな起伏、それと一体となった建物、平らな広場があります。
3. 建物の中心は「みんなのリビング」です。“居間”のような役割を担います。
4. 一人で来ても落ち着く場所があり、友だちどうしても楽しく過ごせる建物です。
5. 吹き抜けやガラスの壁面、屋外デッキなど、風や光をふんだんに取り込んだ、開放的なしつらえです。
6. 窓や扉などの開口部が適度に配置され、どの部屋にいても人の気配が心地よく感じられます。
7. 部屋によっては空間をしきったり、時間を使い分けるなどして効率よく活用します。
8. できるだけ専用の部屋をつくらず、誰でも使いたい時に使えるようにします。
9. 子ども・中高生・若者を中心に、様々なおとなとの出会いや交流を生み出します。
10. 年齢や住むまち、とりまく環境に関わらず、すべての世代を歓迎します。

各部屋・空間の考え方



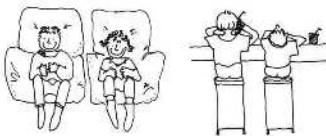
みどりの丘

広場の北側には、芝生や樹木が点在する、みどりの丘があります。子どもが上り下りして遊んだり、腰を下ろして広場を眺めるのにちょうどよい傾斜面です。建物の2階の出入口とつながっています。



広場

子どもが一輪車やボール投げなど思い切り汗をかいて遊ぶ広場は、子どもが利用しない時間帯には大人もスポーツを楽しむことができます。そして時には地域のイベント会場になります。広場にある樹木は木陰をつくり、土ぼこりを防ぐ役目をします。



みんなのリビング

南と北の玄関から、「みんなのリビング」に入ります。吹き抜けの天井がとても開放的です。ゴロゴロできる畳やキッチン・カウンターのあるカフェがあり、ひと休みしたりおしゃべりして過ごすことができます。みんなのリビングと別棟はデッキでつながっています。



ホール・アリーナ

スポーツにも音楽の演奏にも利用できるホール・アリーナは、バドミントンコートであれば3面、ミニバスケットコートは1面がとれる広さです。音楽ホールとして利用する時には約200人の観客が入れます。モニタールームがあり、音響機材を持ち込んで演奏できます。卓球台などのスポーツ用具、イスやステージ台などをたっぷり収納できる倉庫があります。



音楽室 1・2

2つの音楽室は防音が施され、壁面には大きな鏡があります。倉庫は楽器や備品を出し入れしやすいところにあります。



コミュニティルーム1（ミーティング）

様々なサークル活動やミーティングなどに使います。児童センターの運営やイベントの実行委員会の会議のほか、スタッフの日常的な会議などに利用されます。

1階から2階の移動

2階へは、スロープ、階段、エレベーターで行くことができます。スロープの壁面はガラスで覆われ、明るく上り下りする子どもたちの様子を見ることができます。みんなのリビングから直接階段で上がることもできます。



中高生学習スペース

おもに中高生が宿題や読書などをして過ごすコーナーです。ラウンジのような、ゆったりとした雰囲気があります。



子育て室

未就園児と保護者が過ごす子育て室は、板の間（フローリング）と畳のゴロゴロスペースがあります。授乳室や洗い場を備えたトイレ、簡単なキッチンがあるのでここで昼食をとることもできます。子育て室から出入りできる2階のテラスでは、乳幼児が安心して遊ぶことができます。



コミュニティルーム2（創作工房）

作業台や洗い場があり、工作や陶芸などのものづくりに適した部屋です。中高生・若者などがくつろいだり、コワーキングルームのように仲間と一緒に創作にも打ち込めます。軒下の広い屋外テラスは、木工など機材を使う時に便利です。



コミュニティルーム3（児童クラブ室）

今後増加が見込まれる児童数に応じて、児童クラブ室として使用しますが、児童数によってはその一部を自由に使えるワークスペースとして使います。



コミュニティルーム4（児童クラブ室）

コミュニティルーム3での児童クラブ機能が不足した場合、児童クラブ室として使います。ただその時期は未定のため、それまでの間、調理の設備があることを生かして、調理教室やイベント会場として利用します。また、子どもや中高生、若者の利用に影響のない範囲で、地域の活動への貸出しを検討します。

■第9回会議まとめ

会議まとめ

第8回会議で検討した平面図について、修正版の説明を行った後、2年間の市民検討会議の成果として、(仮称)松原児童センター基本計画の基本となる考え方及び各部屋・空間の考え方をまとめた。

1 前回平面図からの主な修正点

① 児童クラブ室をコミュニティルームへ名称変更

前回示した平面図では、児童クラブが使える設えの部屋を児童クラブ室と表記していたが、必要に応じ児童クラブ室として使い、不要の場合は他のコミュニティルーム同様一般開放するため、コミュニティルームへ名称を変更した。

② 別棟のトイレまわりの改善

別棟のコミュニティルームにおいて、前は半屋外にトイレが位置していたため下足へ履き替えなければならず、トイレの環境に懸念があった。これについて、コミュニティルームの間取りの変更及びデッキのスペースを削減することで、屋内にトイレを配置し上足のままトイレに行けるよう改善した。

2 参加者からの主な意見

① 児童クラブ室の整備の順番を再考してほしい。

児童センターより先に、松原小学校内に児童クラブ室を整備してほしい。

コミュニティルームを児童クラブ室として使用するまでの間、一般の子どもたちは、自由に児童センターを利用したり、自分の居場所を見つけることもでき児童センターの利用ルールを自分たちで考える時間を持つことができるようになる。

児童センターの運営が軌道に乗ってから児童クラブを受け入れるほうが、子どもたちも運営側にとってもよいのではないか。

② 弾力的な運営をしてほしい。

児童クラブが入ってくることを見据えつつも、一般の子どもが来館しやすい環境を整えて、児童センター本来の機能を失うことのないよう配慮してほしい。

また、融通の利いた部屋の使い方ができるよう運営に期待している。

③ 中高生の居場所として、愛着のある建物をつくってほしい。

松原団地周辺は、青少年の活動拠点となる公共施設がない。中高生が利用しやすく「自分たちの居場所」と感じることができ、愛着を持てる児童センターをつくってほしい。

その方法として、コミュニティルーム1室に、若者がより使いやすい部屋の名前をつけたらどうか。

3 基本となる考え方及び各部屋の考え方

2年間かけて基本構想及び基本計画を検討してきた成果として、基本となる考え方及び各部屋の考え方を整理した。これまでの検討したことをまとめたものだが、設計や建設など、次年度以降、施設の建設を具体的に進める中で、施設の核となる考え方として活用していきたい。

4 その他

松原小学校内の児童クラブ拡張スペースの整備を優先することについて、再検討を行う。

来年度以降に行う設計や建設プロセスにおいても市民参加の場を設けるため、引き続き参加を依頼した。

6 参考資料

(1) (仮称) 松原児童センター基本構想(平成 29 年 3 月) 概要

① (仮称) 松原児童センターに備える機能

(仮称) 松原児童センターは、草加市地域経営指針や第四次草加市総合振興計画第一期基本計画など関連する計画及びこれまで寄せられている市民や団体からの要望を踏まえ、次の3つの機能を有する施設とします。

●児童館の機能＋青少年活動の拠点機能

乳幼児から18歳未満までを対象とする児童館にとどまらず、青少年の活動の場となるよう必要な設備を整備します。

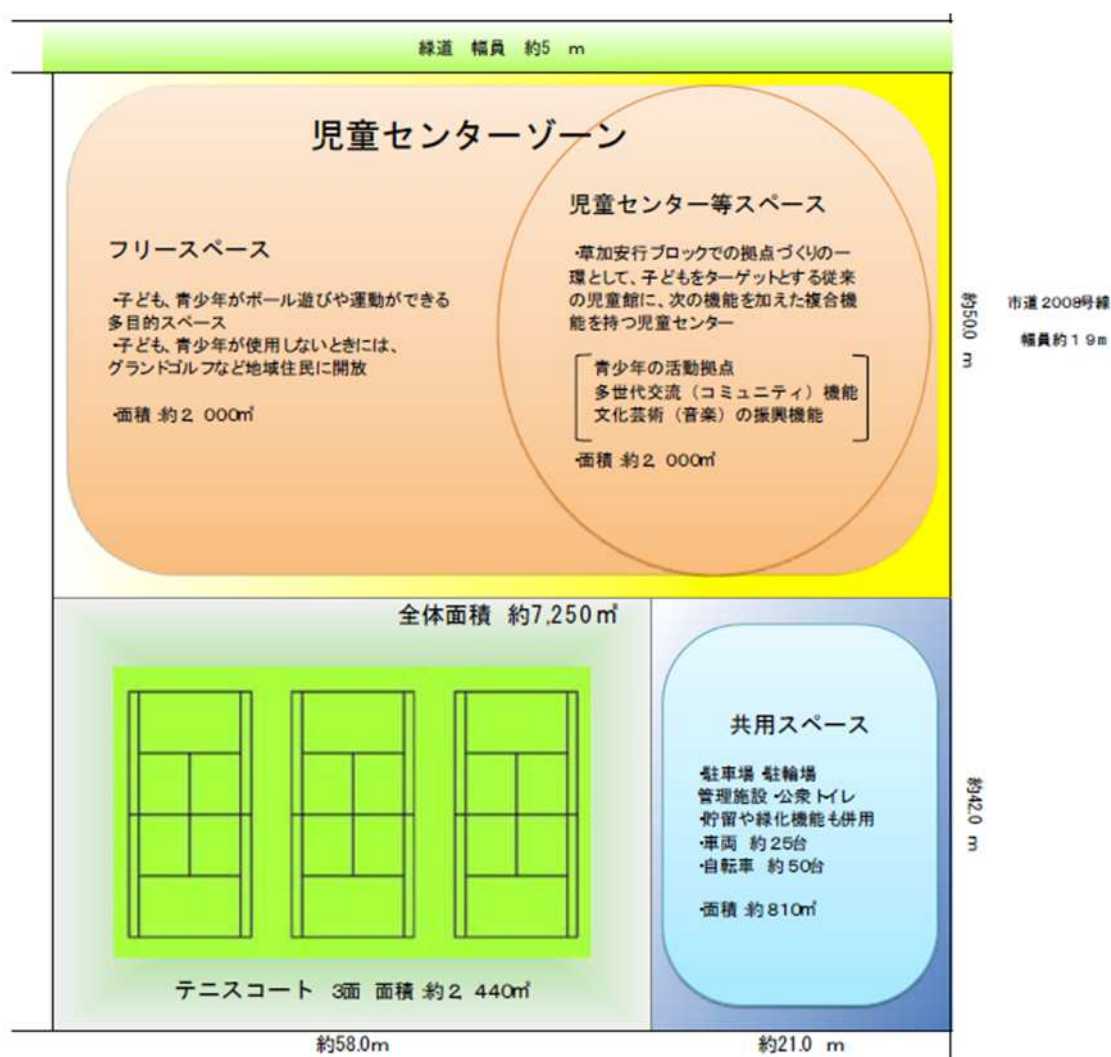
●世代間交流を通じた次世代の育成

児童、青少年の利用に支障がない範囲で、一般市民の利用にも供することで世代間交流を推進します。

●草加市文化芸術振興条例に基づく心豊かな市民生活と魅力ある地域社会の実現

音楽活動の発表も行える施設、設備を整備します。

②施設のゾーニング



③施設の目的・目標

■施設のコンセプト

「松原っ子タウン・プロジェクト」

■「松原っ子タウン・プロジェクト」に込めた思い

計画地の周辺では、現在まちづくりが進行中です。将来は、まちのあちこちで子どもたちの声がこだまする、そんな元気で、はつらつとしたまちになってほしいと思います。

その動きのなかで、(仮称)松原児童センターは、まちの核になる建物と考えます。この建物から、子どもたちがのびのびと成長していくための、さまざまな活動が生まれ、それらが周囲に広がって、やがてまち全体が活力に満ちていく。そんな理想を掲げて、今回の場所づくりを「松原っ子タウン・プロジェクト」と名付けました。

このプロジェクトは、建物がオープンして終わりではありません。完成した建物の運営や、ここを拠点に行われるさまざまな活動へと継続していくものです。そして、そこには、地域の大人たちの支えが欠かせないのです。この場所から、子どもたちを中心に、地域のさまざまな人が関わって、たくさんの「物語」が生まれていくといいと思います。

■大切にしたい考え方

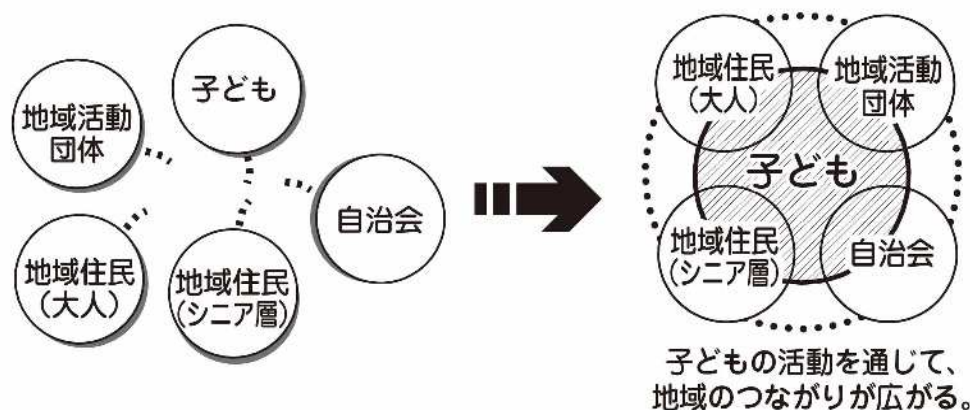
○子どものために

- ・草加に暮らす、すべての子どもが、その子らしく生きていくことを応援します
- ・子どもが自分で考えて選択し、挑戦や失敗をしながら、学んでいく環境をつくります
- ・子どもが、子ども同士や大人と出会う機会をつくり、自分の可能性や他人への思いやりに気づき、自立していく道のりを支えます

○かつて、子どもだった、「大人のために」

- ・地域の子どもの成長にふれ、大人が、子どもから教わる機会をつくります
- ・子どもの活動を見守る過程を通して、大人と子どもだけでなく、大人同士もつなぎ、多世代の交流を促します
- ・草加のまちに夢を発信して、草加に暮らす、みんなに元気を届けます

■「松原っ子タウン・プロジェクト」のイメージ



■「松原っ子タウン・プロジェクト 物語」

このプロジェクトの主演は、草加に暮らすこどもたち
0歳から18歳までの、子どものための場所づくりのプロジェクト

その場所は、どんな場所？

家みたいに楽だけど、誰かの家じゃない
来ても、来なくてもいいし、
何もしなくてもいい
ここは、子どもがその子でいられる場所

子どもにとって、遊びは学び
何にでも熱中し、いつのまにか、学んで育っていく
ここは、思い切り遊ぶことができる場所

だからと言って、何でも許されているわけじゃない
やっていいことと、やってはいけないことを見極める
ここは、子どもが自分で考えて決める場所

まちでいろんな人に会うように、
ここでもいろんな人と出会える
思い通りにならなくて、ケンカして、傷つけあったりするけれど、
相手を思いやる気持ちに気づいていく
ここは、子どもが人間力を身につける場所

子どもにだって、誰にも会いたくない時はある
学校にも、家にも会いたくない、
そんな時にいられるところがあたらいい
ここは、学校と家庭の間にあるような、宿り木のような場所

これまで、草加には、中高生のための場所が少なかった
誰とでも対等に向き合って、
自分なりのこたえを出していく
ここは、中高生が、自分を試すチャンスのある場所

毎日、子どもとだけ過ごしていると、
気持ちがふさいでしまう時もある
まわりの大人が元気にしていないと、
子どもに気をつかせてしまう
ここは、子育て中のお母さんやお父さんが
仲間をみつけられる場所

大人には大人の理屈があるように、
子どもにも、理屈はある
子どもの力を信じよう
大人は少しの間、待つことにして、子どもの話をきこう
ここは、大人が子どもから教えられる場所

こんな場所を、地域 みんなでつくること
それが、松原っ子タウン・プロジェクト

草加に暮らす、子どものための場所づくり
プロジェクトは今、はじまったばかり

④検討に当たり、市民検討会議で寄せられた意見

■全体について

1. 時間による住み分けを検討する
 - ・乳幼児親子は最近では午後でも外出する
2. 乳幼児はいくつかの選択肢が考えられる
 - ・みんなと一緒によい
 - ・すぐ隣に小中学生がいても大丈夫
 - ・別室が安心できる

■アリーナ・体育室（更衣室・シャワー含む）

1. 既存の文化施設
 - ・1200席、350席はあるが、老朽化が進んでいる
 - ・10年後には建替えるかどうか・・・分からない
2. 可動ステージを設置するか否か
 - ・ジュニアオーケストラは、練習？発表？
 - ・オケの練習が始まると、他のスポーツは実質的に使えなくなる
 - ⇒“いつ行っても遊べる施設”じゃなくなるのは困る
 - ⇒音楽室（2部屋プチ抜きで）で練習できないか？

■フリースペース・休憩スペース

1. 畳スペースの有無
2. 飲食可？
 - ・いつでもOK⇒ゴミが散らかる⇒入れたくなるゴミ箱をデザインする
 - ・時間を決める
 - ・食べたいのに食べられない子どもがいたら？？

■乳幼児＋お母さんのための部屋

1. 児童センターが完成すると、「ろけっと」が移設される予定
2. 専用の場所は不要ではないか
 - ・既存施設でカバーする
 - ・優先順位は低い

■学童クラブ

1. 将来、必要性が弱まり、他の用途に変更する場合を想定しながらプランを考える
2. 時間帯
 - ・麻布では、夕方から利用していた（？）

■調理室・カフェ

1. オープンカフェがよい
 - ・付属スペースとして検討する
 - ・独立した部屋を用意するのか
2. 予約なしで使いたい

■集会室・工作室

1. 多目的に使えるとよい
 - ・ヘビーデューティーや大テーブルでミーティングも人気がありそう
2. オープンなコーナーでできることもあるのではないかと
 - ・音や埃の問題もある
3. 人とセットで考える
 - ・指導者がいることが前提・・・ただスペースをつくれればよいというものではない

■図書室・学習室

1. 「読み聞かせ」は図書室じゃなくてもできる
2. 雑誌・マンガ／受験参考書など、図書館では見ることのできない本を揃えたい
⇒静かに本を読みたい人は図書館に行く？

■中高生室

1. 時間帯
 - ・日中は使わない
2. 特別な部屋をつくるかどうか
 - ・参加した大学生は不要、という意見だった・・・不良の温床になる？
 - ・ゆう杉並では“運営に関わる中高生”という目的が明確だった⇒それなら必要かもしれない
 - ・大きな部屋のコーナーでも十分ではないか

■音楽室

1. 合体できるとよい
 - ・ジュニアオーケストラの練習に使える広さがあるとよい
 - ・分割した際の可動壁の防音機能を高める必要あり
2. 屋外コンサート対応だとよい
 - ・アリーナではなく、音楽室が外に面する、というのも面白い
 - ・音楽都市草加としては、こだわりたい

■屋外（屋上）

1. グランドゴルフは、屋上ではどうか
 - ・他とバッティングしにくい
 - ・隔離することにならないように配慮が必要
2. フットサルコート
 - ・ネットで囲う
3. ジャブジャブ池
 - ・池の底にガラスブロックがはまっていて、下の階の天井になっているときれい
 - ・井戸水の利用を検討する
 - ・屋上に設置する理由は？
4. 時間帯で使い分ける
 - ・午後は小中学生

⑤必要諸室と屋外空間の整理

○屋内合計… 1100 m²

項目	面積	利用のしかた	備考
アリーナ・体育室 (更衣室・シャワー室含む)	500 m ²		※屋内？屋外？
フリースペース・休憩スペース	120 m ²		
乳幼児＋お母さん	100 m ²		
学童クラブ	65 m ²		
調理室／カフェ	40 m ²		
集会室・工作室	40 m ²		
図書室・学習室	40 m ²		
中高生室	30 m ²		(中15m ² /高15m ²)
音楽室 1 (楽器)	25 m ²		
音楽室 2 (ダンス)	35 m ²		
事務室	25 m ²		
WC 1	25 m ²		
WC 2	20 m ²		※外からも使用可
倉庫	35 m ²		

○屋外

多目的広場

プレーパーク

リーダーハウス

大きな木のある緑道

自転車100台

管理用車両 2 台

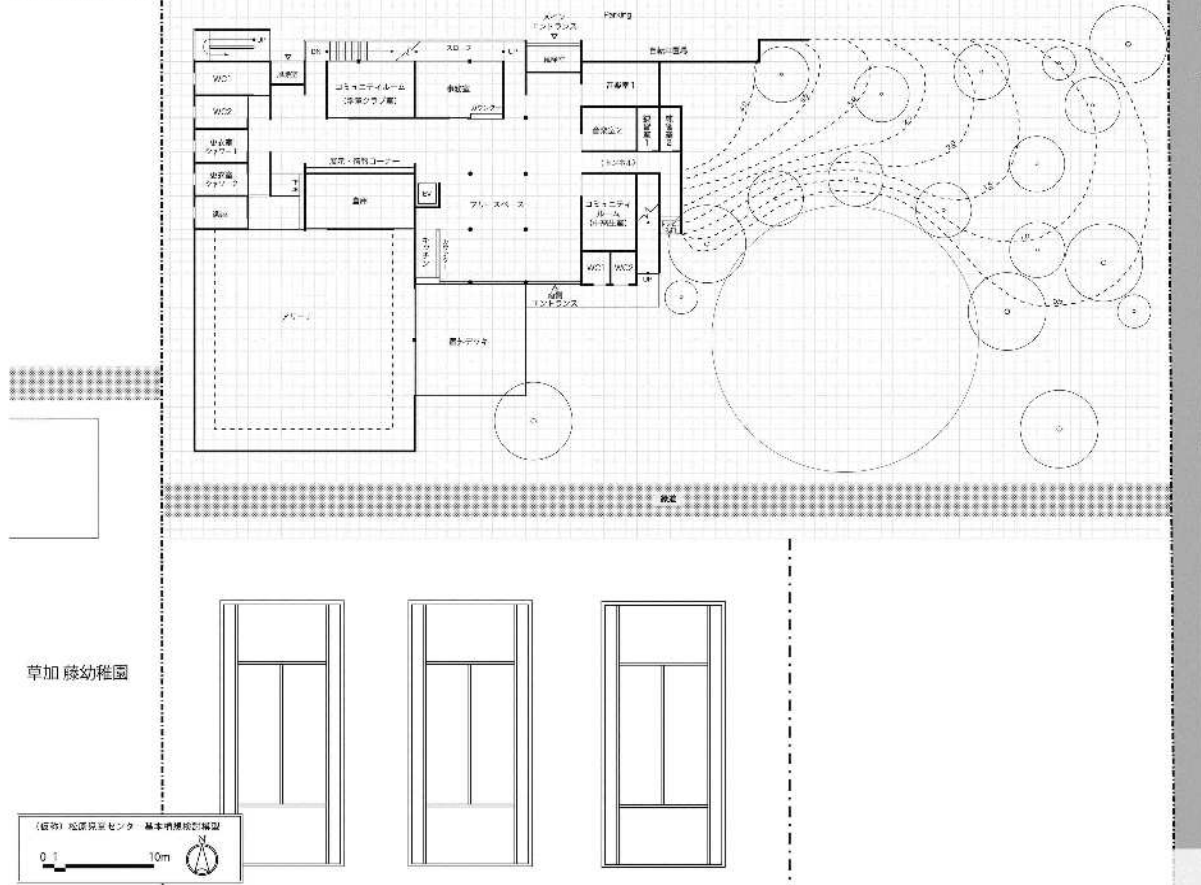
など

⑥2つの検討モデル

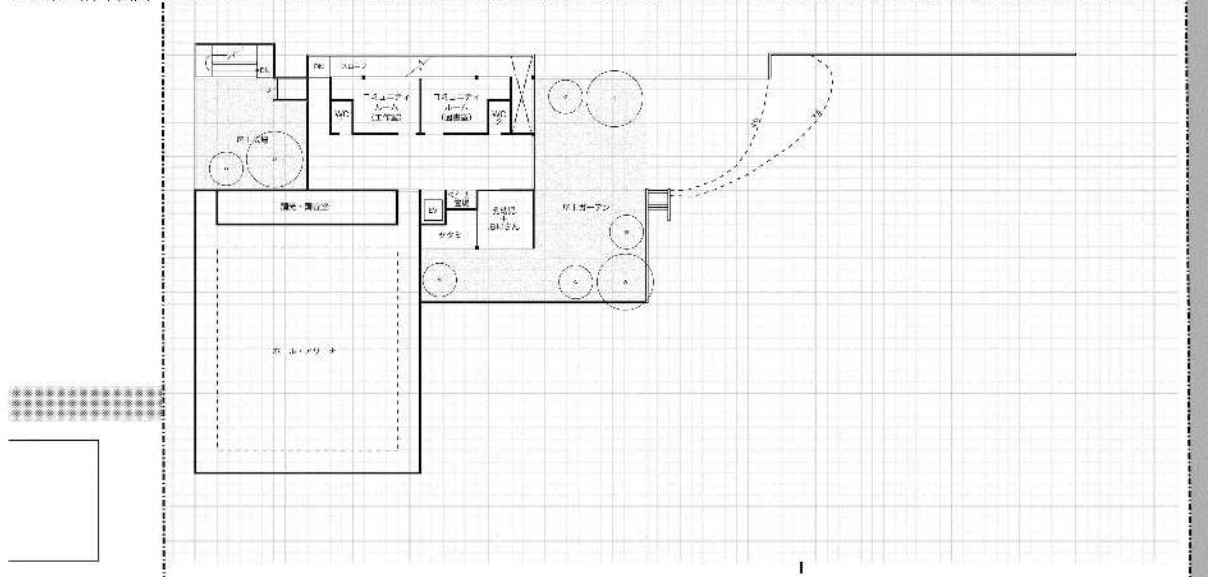
「⑤必要諸室と屋外空間の整理」を踏まえ、2つのモデル（X案・Y案）を検討

■X案平面図

■ X案1階平面図

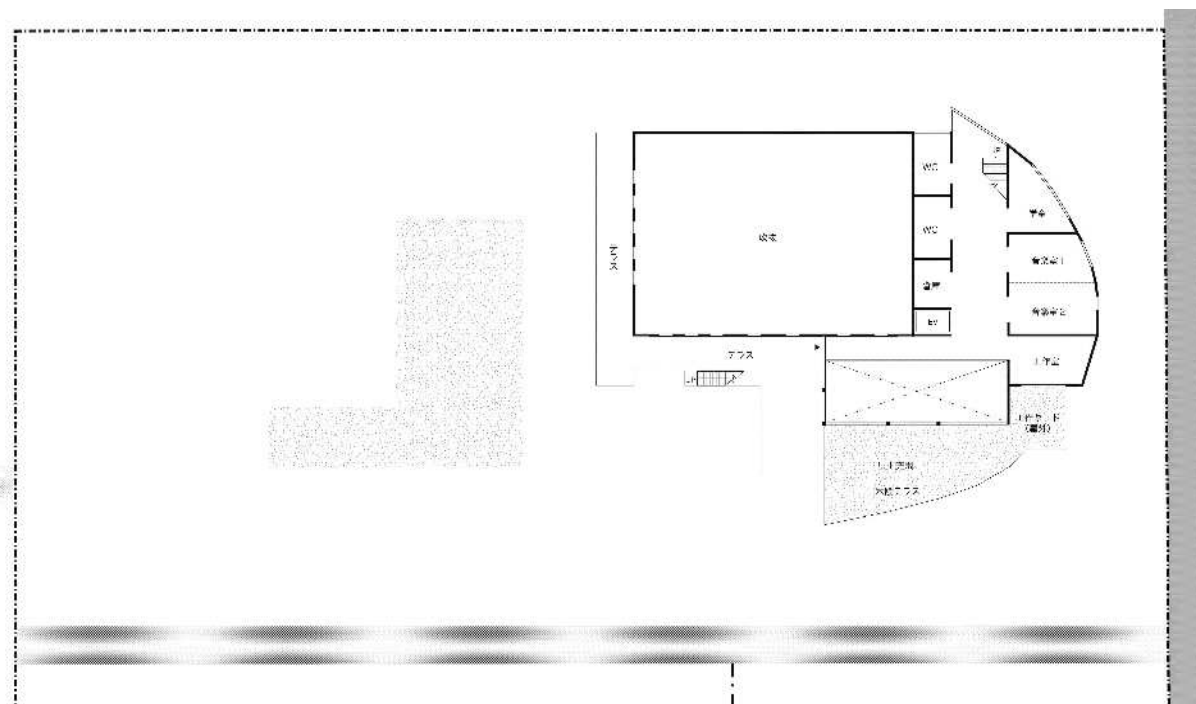
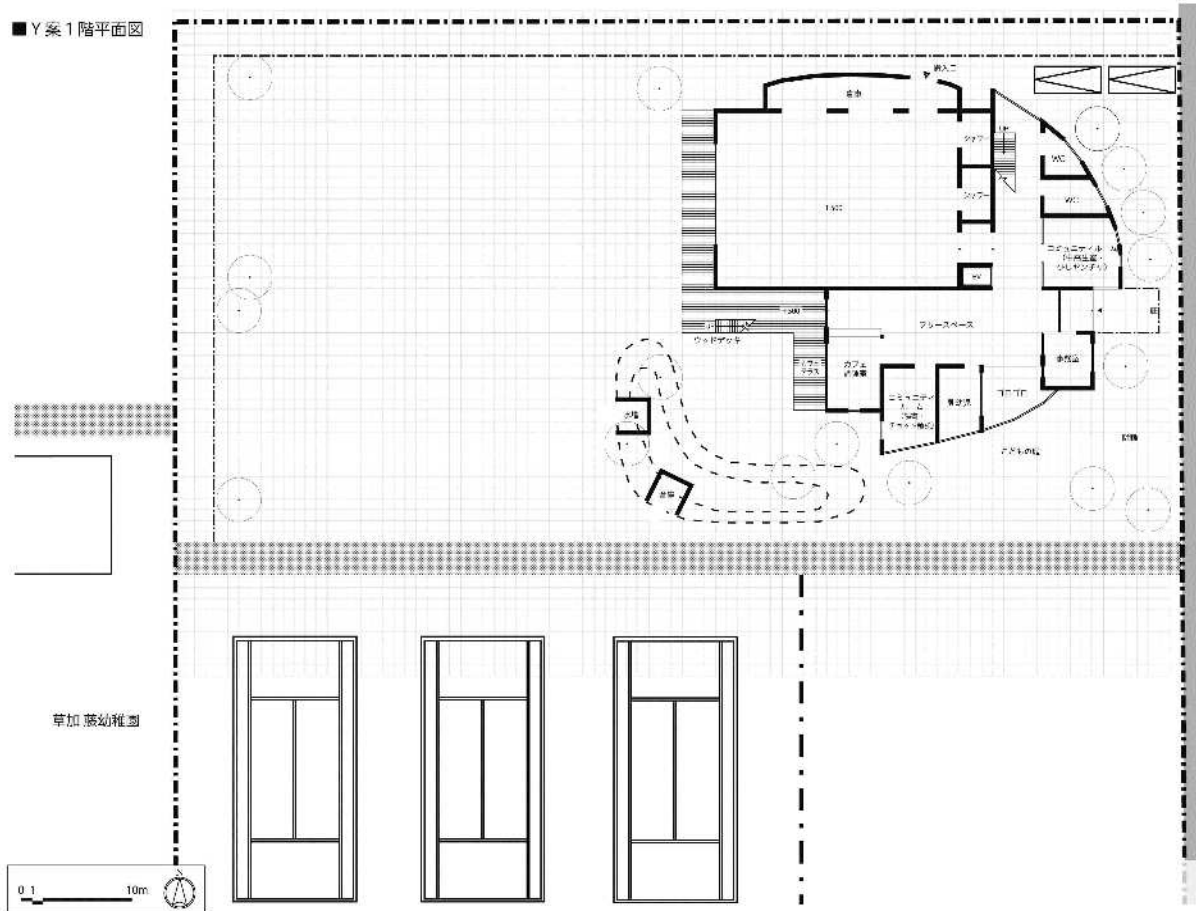


■ X案2階平面図



■ Y 案平面図

■ Y 案 1 階平面図



⑦基本計画を考える際に考慮すべき論点

■建物の配置

- ・敷地の東側に寄せるか、西側に寄せるか
→屋外を広くとることを考えると、真ん中に配置することはしない

■屋外空間

- ・屋外はできるだけ広くとり、山、水、井戸、森をつくる
→平らな面積を 1,800 m² とすることは難しい

■建物の高さ

- ・建物全体ボリューム：周辺への影響を考慮すると、アリーナ 2 階案（高さ 20m 程度）は難しい

■出入口

- ・どこからでも入れるようにするか、主要な出入口を決めるか
- ・敷地境界の柵の設置や、管理の考え方と合わせた検討が必要

■学習室・工作室・音楽室・調理室

- ・一体化し、多機能をもつ部屋をつくるか、個別につくるか

■乳幼児とお母さんの部屋

- ・フリースペースと一体化させるか、離れてつくるか

■学童クラブ室

- ・入口を別につくるか、行き来ができるようにつくるか、単独でつくるか
- ・将来、学童クラブ室が必要でなくなった時の使い方を考慮しておく

■こどものかわり(可変性)

- ・たとえば、完成後にこどもが自分たちで考えてつくることのできる部分をどのように考えておくか

(2) (仮称) 松原児童センター市民検討会議 出席者

①市民・市民団体

市内在住大学生

草加松原団地自治会

松原四丁目南町会

草加の児童館を考える会

NP0 法人子ども広場草加おやこ劇場

NP0 法人草加ジュニアオーケストラ

②関係団体

公益財団法人児童育成協会

独立行政法人都市再生機構

③草加市関係課

総合政策課

資産活用課

みんなでまちづくり課

文化観光課

スポーツ振興課

福祉政策課

子育て支援課

草加市子ども未来部子ども育成課
平成30年3月

編集：早稲田大学参加のデザイン研究所